１．調査の目的と背景

（１）レッドデータブックの役割と国の対応

野生生物を人為的に絶滅させないためには、絶滅のおそれのある種を的確に把握し、一般への理解を広める必要がある。

レッドデータブックとは、野生生物の種を絶滅のおそれのある程度（カテゴリー）に応じてランク付けをし、その生息・生育状況などについて解説した資料集であり、国際的には 1966 年（昭和 41 年）に国際自然保護連合（IUCN）から初めて発行された。

我が国では、植物について平成元年に、（財）世界自然保護基金日本委員会と（財）日本自然保護協会の共同編集により「我が国における保護上重要な植物種の現状」が発行されたのが最初である。

環境省は、「我が国の絶滅のおそれのある野生生物」として、平成 3 年度に動物編を発行したが、生息状況や生息環境の変化に関する最新の知見・情報等を踏まえ、また、1994 年（平成 6 年）に IUCN で採択された新しいカテゴリーの考え方に基づき、レッドデータブックの見直しを行う必要が生じた。

このため、環境省は平成 7 年度から、哺乳類、鳥類といった分類群ごとに専門家による検討会を設け見直し作業に着手し、平成 12 年 2 月の「爬虫類・両生類」から、順次改訂版レッドデータブックとしてとりまとめ、発行してきた。

平成 14 年度より、2 回目のレッドリスト見直し作業に着手し、平成 18 年 12 月には、鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物の 4 分類群について、平成 19 年 8 月には、残りの哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ⅰ及び植物Ⅱの 6 分類群について、新たなレッドリストを公表した。

平成 20 年度より、3 回目のレッドリスト見直し作業に着手し、平成 24 年度に第 4 次レッドリストとして公表した。また、このリストを元に、平成 26 年度にレッドデータブックを発行した。平成 27 年度以降は、生息状況の悪化等によりカテゴリーの再検討が必要な種について随時見直しを行うこととし、第 4 次レッドリストの改訂版として現在までに 4 回見直しを行い公表した。

レッドデータブックは、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価し選定したものであり、規制等の法律上の効果を持つものではないが、絶滅のおそれのある野生生物の保護を進めていくための基礎的な資料として広く普及を図り、野生生物への関心を高めるとともに、各種開発事業の環境影響評価などに活用され、自然環境保全への配慮が促進されることを目的としている。

また、レッドデータブックの掲載種の中でも特に保護の優先度の高い種については、さらに調査を進めた上で必要に応じ、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」に基づく国内希少野生動植物種に指定し保護を図っていくこととしている。

環境省における見直し作業により、絶滅のおそれのある生物の種数は、レッドリスト 2019 で動物では 1,410 に、植物では 2,266 となっており、絶滅のおそれがある生物の種数が増加している。

この理由としては、生息・生育環境の悪化などが大きいと考えられるものの、分類学上の整理が進んだり知見が充実したりしたことにより評価対象種数自体が増加したことも事実であることから、今後とも見直し作業を行い、最新の知見により改訂していくことが必要とされている。

（２）愛知県版レッドデータブックの意義

野生生物は、各地域の自然環境特性に適応して生息・生育していることから、これらの野生生物を的確に保全し生物多様性の確保を図るためには、全国的な情報と併せ、県等の行政区画単位で地域特性ごとに情報整理を行う必要がある。

環境省作成のレッドデータブック（レッドリスト）は、全国の生息・生育状況を基準として「絶滅のおそれの程度」を評価している。しかし、全国的には当面絶滅のおそれがない生物でも愛知県に限れば絶滅する危険性が極めて高いものもあり、全国の平均的な状況では絶滅の可能性がある生物でも愛知県に限ればまだ比較的多く残存しているものもある。

例えば、「ヤチヤナギ」は、北半球の周極地方に広く分布しており、日本でも北海道や本州北部の泥炭湿地には比較的多く生育しており、やや離れて尾瀬にも分布している。また、尾瀬よりはるか南の愛知県と三重県の低地にも数カ所、自生地がある。しかし、これらの場所の個体群は、いずれもすでに絶滅したか、残存していても極めて危機的な状況にある。愛知県や三重県の低地に生育するヤチヤナギは、現在よりはるかに寒冷だった時代に分布を拡大してきて今日まで残存しているもので、地球の気候変動を物語る証人として保全上重要な価値がある。しかし、ヤチヤナギは、北海道や尾瀬では個体群が安定的に維持されており絶滅のおそれはないと判断されるため、日本全体で評価を行う環境省作成のレッドデータブックには掲載されていない。一方、サクラバハンノキやヒメコヌカグサは、湧水環境の多い愛知県の丘陵地には比較的多く生育しており、さしあたり絶滅のおそれはないと判断される。しかし、これらの植物は、全国的には減少傾向が著しく、環境省作成のレッドデータブックに掲載されている。地域の特性に応じて効率的に生物多様性を保全するためには、どうしても地域版のレッドデータブックが必要である。

また、環境省のレッドデータブックでは、日本が島国であり地理的にある程度孤立していることもあって、再侵入確率は考慮しないという方針で評価が行われている。しかし、隣接地と地続きの愛知県のような地域を対象とする場合には、再侵入確率は無視できない問題である。

例えば、愛知県には僅かしか存在しないが長野県や岐阜県にはたくさんある種は、現在愛知県にある個体群が絶滅しても、そのうちに隣接地から再度種子が運ばれ、発芽して生長する可能性がある。そうなれば、愛知県全体としては絶滅したことにならない。それに対して、シデコブシやシラタマホシクサのような愛知県を中心とした地域にしか生育していない地域固有種は、愛知県内で絶滅すれば他地域から分布を拡大してくることはほとんど期待できない。県内に現存する個体群の絶滅危険度が仮に同じであったとしても、長期的に愛知県内でその種が存続する可能性は大きく異なってくる。そのため本県の選定基準では、生育環境の減少率や、開発や採取などの人為的圧力による種の絶滅の危険性に加えて、その種の「地域固有性」を考慮して評価を行った。

以上のとおり愛知県版レッドデータブックは、地域的実情が異なる中での野生生物のきめ細かい生息状況を把握し、その情報を広く県民へ周知し本県固有の自然環境保全への配慮を促す等の役割を担うものである。

愛知県では、平成 12 年度にレッドリスト植物編を公表し、これを元に平成 13 年度に「レッドデータブックあいち植物編」をとりまとめた。その後、見直し作業を行い、平成 20 年度に「レッドデータブックあいち 2009 植物編」をとりまとめ、平成 26 年度に第三次レッドリスト「レッドリストあいち 2015」を公表した。さらに専門家で構成する「愛知県絶滅危惧種等調査検討会」を中心に見直し作業を進め、令和元年度には「レッドデータブックあいち 2020 植物編」（本書）としてとりまとめた。

２．調査の概要

（１）調査対象

① 調査対象

・維管束植物（種子植物・シダ植物）

平成 29 年 12 月発行の「グリーンデータブックあいち 2017 維管束植物編」に掲載されている種類からスハマソウ以外の品種、園芸品種、雑種、実際には雑種の可能性が高いミカワザサ、近縁種や基準変種との関係について更に検討を要するイズヤブソテツ、オオギョウギシバ、ユキヨモギ、同定の誤りの可能性があるアズミノヘラオモダカとハシナガヤマサギソウ、不完全な資料しか得られておらず疑念が残るサルメンエビネを除き、その後県内で生育が確認されたテンリュウヌリトラノオを加えた 3,346 分類群を調査対象とした。

・コケ植物（セン類・タイ類）

セン類及びタイ類の種（亜種、変種を含む）を単位とし、標本あるいは文献等により、愛知県に生育している（いた）と判断された種を対象とした。なお、ツノゴケ類については、資料不足のため対象外とした。

② 調査対象範囲

調査対象範囲は、愛知県内（島嶼部を含む）の陸上及び陸水中とした。また、沿岸の浅海域、干潟、河口部も含むものとした。

（２）調査体制

調査の実施に当たっては、平成 26 年度に野生動植物に関する専門の学識者を中心とした「愛知県絶滅危惧種等調査検討会」を設置し、調査に関する事項として、調査の進め方、調査結果のデータベース化等を、レッドデータブック作成に関する事項として、評価方法、評価結果等を検討した。

実際の調査及びレッドデータブック作成に関する作業は、分類群毎に実施し、検討会において調査・作業状況を報告するとともに、分類群間での連絡調整を行った。

検討会の体制及び委員は表 1 のとおりである。

表 1　愛知県絶滅危惧種等調査検討会（敬称略）

専門分野等	委　員		任　期
維管束植物	芹沢俊介	（愛知教育大学教育学部名誉教授）	H26.10～R02.3
〃	村松正雄	（元瀬戸市立水無瀬中学校教諭）	〃
蘚類	成田　務	（鳳来寺山自然科学博物館学術委員）	〃
苔類	山田耕作	（公益財団法人服部植物研究所非常勤研究員）	〃
哺乳類	子安和弘	（愛知学院大学歯学部講師）	H26.10～R02.3
鳥類	高橋伸夫	（愛知県野鳥保護連絡協議会議長）	〃
両生類・爬虫類	島田知彦	（愛知教育大学教育学部准教授）	〃
汽水・淡水魚類	谷口義則	（名城大学人間学部教授）	〃
昆虫類	間野隆裕	（日本鱗翅学会幹事）	〃
クモ類	緒方清人	（日本蜘蛛学会会員）	〃
貝類	木村昭一	（日本貝類学会評議員）	〃

３．調査内容

（１）調査方法

調査は、平成 26 年度から令和元年度にかけて、分類群毎に以下の方法により実施した。

① 維管束植物（種子植物・シダ植物）

維管束植物の調査は、愛知植物の会が担当した。愛知植物の会では、1992 年から前身の愛知県植物誌調査会が中心になって蓄積してきた県内を 58 区画に分けての全維管束植物の分布資料を基礎に、複数の現行市町村が含まれる区画は枝番を付した区画に分け、必要に応じ追加野外調査や現状確認調査、国内主要標本室の収蔵標本調査を行い、現況および過去の状況を把握した。調査区画は図 1 及び表 2 に示した。調査の単位としてきた 58 区画は、1992 年当時の市町村界を基礎に、二次メッシュに相当するほぼ 100 km² を基準とし、200 km² を超える市町村は行政界、地形界、大規模構造物などにより分割し、50 km² 以下の市町村は合併させるという基本方針で設定し、平成の大合併後の状況に応じて一部修正を加えたものである。

調査記録は、後日必要に応じ再検討できるよう、原則として裏付けとなる標本が公共標本室に保管されているものに限定した。標本の裏付けがない観察記録は、参考情報にとどめた。ただし、過去に県内で記録されているが現存が確認できず、標本も残されていない一部の種については、今まで愛知県では自然史資料の集積体制が十分でなかったという事情を考慮し、確実と思われるものに限定してリストに掲載した。

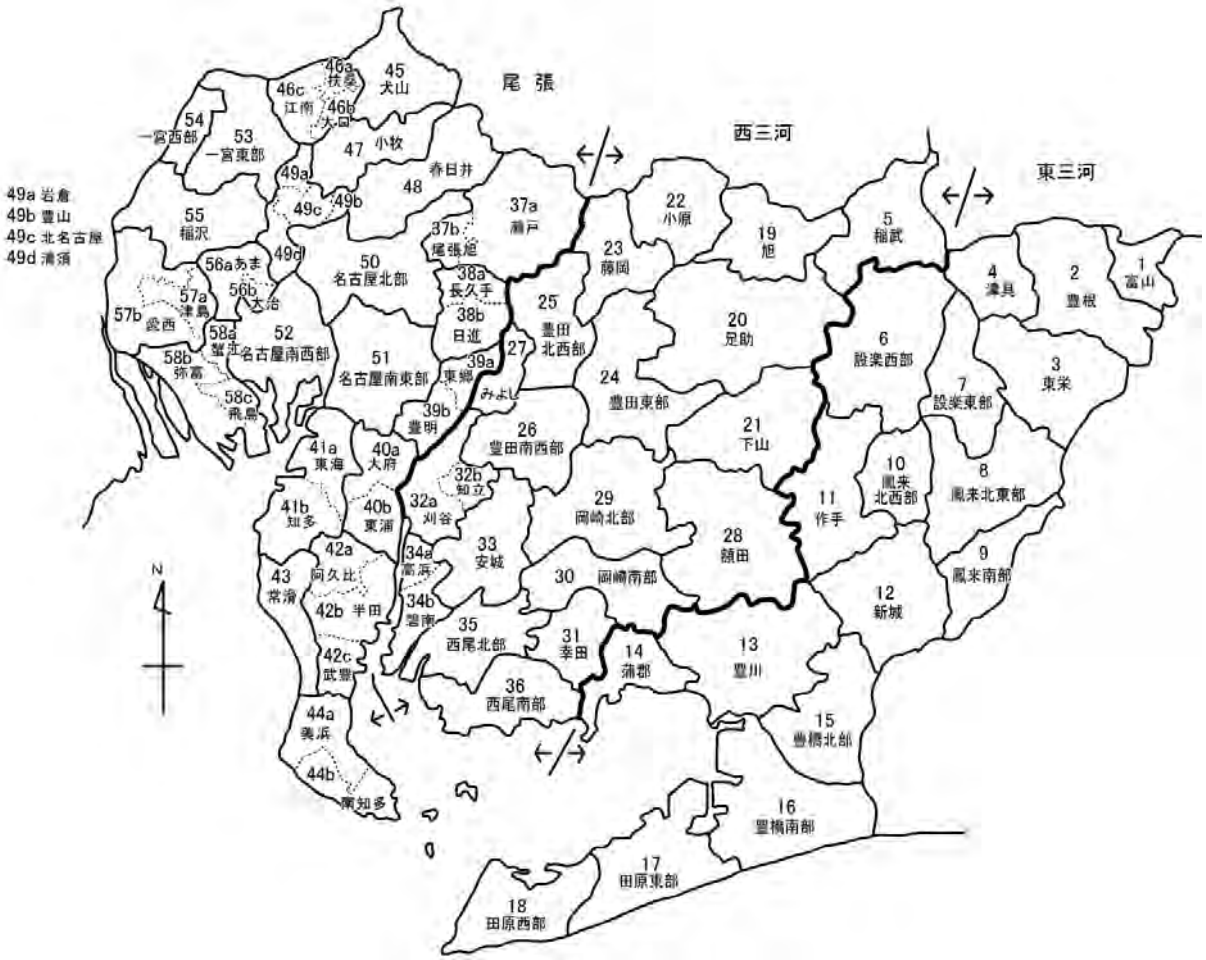

図 1　調査区画図

表 2　調査区画一覧

地域	番号	略称	範囲
東三河	1	富山	豊根村（旧富山村）
	2	豊根	豊根村（旧村域）
	3	東栄	東栄町
	4	津具	設楽町（旧津具村）
	6	設楽西部	設楽町（旧町域の寒狭川・境川以西）
	7	設楽東部	設楽町（旧町域の寒狭川・境川以東）
	8	鳳来北東部	新城市（旧鳳来町の中央構造線以北、寒狭川・海老川以東）
	9	鳳来南部	新城市（旧鳳来町の中央構造線以南）
	10	鳳来北西部	新城市（旧鳳来町の寒狭川・海老川以西）
	11	作手	新城市（旧作手村）
	12	新城	新城市（旧市域）
	13	豊川	豊川市
	14	蒲郡	蒲郡市
	15	豊橋北部	豊橋市の東海道本線以北
	16	豊橋南部	豊橋市の東海道本線以南
	17	田原東部	田原市（旧田原町、旧赤羽根町）
	18	田原西部	田原市（旧渥美町）
西三河	5	稲武	豊田市（旧稲武町）
	19	旭	豊田市（旧旭町）
	20	足助	豊田市（旧足助町）
	21	下山	豊田市（旧下山村）
	22	小原	豊田市（旧小原村）
	23	藤岡	豊田市（旧藤岡町）
	24	豊田東部	豊田市（旧市域の矢作川・御船川以東）
	25	豊田北西部	豊田市（旧市域の矢作川・御船川以西、国道 153 号バイパス以北）
	26	豊田南西部	豊田市（旧市域の矢作川・御船川以西、国道 153 号バイパス以南）
	27	みよし	みよし市
	28	額田	岡崎市（旧額田町）
	29	岡崎北部	岡崎市（旧市域の矢作川・乙川・男川以北）
	30	岡崎南部	岡崎市（旧市域の矢作川・乙川・男川以南）
	31	幸田	幸田町
	32a	刈谷	刈谷市
	32b	知立	知立市
	33	安城	安城市
	34a	高浜	高浜市
	34b	碧南	碧南市
	35	西尾北部	西尾市（旧市域）
	36	西尾南部	西尾市（旧一色町、吉良町、幡豆町）
尾張	37a	瀬戸	瀬戸市
	37b	尾張旭	尾張旭市
	38a	長久手	長久手市
	38b	日進	日進市
	39a	東郷	東郷町
	39b	豊明	豊明市
	40a	大府	大府市
	40b	東浦	東浦町
	41a	東海	東海市
	41b	知多	知多市
	42a	阿久比	阿久比町
	42b	半田	半田市
	42c	武豊	武豊町
	43	常滑	常滑市
	44a	美浜	美浜町
	44b	南知多	南知多町
	45	犬山	犬山市
	46a	扶桑	扶桑町
	46b	大口	大口町
	46c	江南	江南市
	47	小牧	小牧市

（次頁に続く）

表 2　調査区画一覧（前頁の続き）

地域	番号	略称	範囲
尾張	48	春日井	春日井市
	49a	岩倉	岩倉市
	49b	豊山	豊山町
	49c	北名古屋	北名古屋市
	49d	清須	清須市
	50	名古屋北部	名古屋市西区、北区、中区、東区、守山区、千種区、名東区
	51	名古屋南東部	名古屋市昭和区、瑞穂区、南区、天白区、緑区
	52	名古屋南西部	名古屋市中村区、熱田区、中川区、港区
	53	一宮東部	一宮市（奥町を除く旧市域）
	54	一宮西部	一宮市（奥町、旧木曽川町、旧尾西市）
	55	稲沢	稲沢市
	56a	あま	あま市
	56b	大治	大治町
	57a	津島	津島市
	57b	愛西	愛西市
	58a	蟹江	蟹江町
	58b	弥富	弥富市
	58c	飛島	飛島村

② コケ植物

調査対象種について、以下の 3 方法により生育状況の把握を行った。なお、調査結果の記録にあたっては、データベース化を考慮し、所定の調査票に記入する方式とした。

・文献調査

既存の文献を収集し、生育場所、確認時期等を調査した。

・標本調査

既存の標本に関する情報を収集し、生育場所、確認時期等を調査するとともに、必要に応じて未同定標本の同定を行った。

・現地調査

現地踏査を行い、生育状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査及び標本調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

（２）評価の区分及び方法

維管束植物の評価は、以下の方針で行った。

まず、何らかの人為に伴って愛知県に入ってきたと判断される、あるいはその可能性が高い種類は、原産地が日本国内であるか国外であるかを問わず、評価の対象から除外した。ただし、カジノキは一般に植栽と考えられている種であるが、原産地が不明であること、豊橋ではかなり自然度の高い場所に生育していることを考慮し、豊橋のものに限定して評価の対象とした。ビャクシン、レンリソウ、ノハラクサフジなど移入の可能性はあるが自生の可能性を否定しきれない種は、一応評価の対象とした上で、必要に応じ注釈を加えることにした。県内に自生集団と移入集団があるマツバラン、コケミズなどや、自生の可能性がある集団と明らかに移入である集団があるナラガシワなどは、移入集団は除外し、自生または自生の可能性がある集団に限定して評価を行った。

次に、自然状態で県内に分布を拡大してきたと判断されるが、侵入初期でまだ定着状態に至っていない、またはいなかったと判断されるハチジョウシダモドキ、ハマナツメなどは、「希少偶産種」として、評価の対象から除外した。希少偶産種と判断した種の県内での生育状況は、699 頁にまとめて記述した。

コケ植物についても、何らかの人為に伴って愛知県に入ってきたと判断される種類は評価の対象から除外した。

評価対象種の絶滅のおそれの程度については、調査結果をもとに表 3 に示す評価区分基準に従い判定した。

維管束植物は、調査対象種について、愛知県内に現存する「個体数」と「集団数」を集計するとともに、「生育環境の減少傾向」、「人為的圧力の程度」、「地域固有性」を加えた 5 項目について、それぞれ表 4 に示す 4 段階で評価し、その総点をその種の評価点とし、総点 16 以上を絶滅危惧ⅠＡ類（CR）、14～15 を絶滅危惧ⅠＢ類（EN）、12～13 を絶滅危惧Ⅱ類（VU）、11 を準絶滅危惧（NT）、10 以下をリスト外と判定した。ただし、一部の種については補正項を加え、更に特殊事情があると判断される種については総点に 1 を加え、または総点から 1 を減じて、評価を行った。手法の根拠及び詳細は、資料編に示した。また、愛知県ではリスト外と判定されたが、環境省が平成 31 年 1 月に公表した全国版レッドリストに掲載されている種は、「国リスト」としてリストに掲載した。

コケ植物については、維管束植物と同程度の定量的な評価は困難であったため、収集された情報をもとに、全国的な分布の状況等を勘案して総合的に判断・評価を行い、定性的要件に従い絶滅のおそれの程度を判定した。手法の詳細は、資料編に示した。

なお、評価区分のうち野生絶滅は、原産地や遺伝的混乱の防止体制に疑問があると思われる場合もあり、また個人的に管理されているものをすべて確認することも困難であると判断されたので、今回のレッドデータブックでは絶滅とあわせ、絶滅・野生絶滅として扱うこととした（ただし、表記上は絶滅（EX）とした）。

判定の結果は、「レッドデータブックあいち 2020 植物編」の基礎となる第四次レッドリスト（案）としてとりまとめた。そして、レッドリストの精度の充実を図るため、平成 31 年 4 月から令和元年 5 月にかけて情報及び意見（パブリックコメント）の収集を行った。これらを勘案し、更に令和元年 11 月末日までの情報を加えて最終的な判定を行い、最新のレッドリストとして本書に掲載した。なお、パブリックコメントで寄せられた意見のうち本書の記述に反映できなかった主要なものは、資料編 Q&A に収録した。

表 3　「レッドデータブックあいち 2020 植物編」の評価区分基準

<table>
<tr><th colspan="2">区分及び基本概念</th><th colspan="3">定性的要件</th><th>準定量的要件※</th></tr>
<tr><td>絶　滅
Extinct (EX)
・
野生絶滅
Extinct in the Wild (EW)</td><td>愛知県ではすでに絶滅したと考えられる種。野生では絶滅し、飼育・栽培下でのみ存続している種。</td><td colspan="3">過去に愛知県に生息したことが確認されており、愛知県において少なくとも野生ではすでに絶滅したと考えられる種（飼育・栽培下では存続している種を含む）。
【確実な情報があるもの】
1　今回の調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認された。
【情報量が少ないもの】
2　過去 35 年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">絶滅危惧Ⅰ類
Critically Endangered + Endangered
(CR+EN)</td><td rowspan="2">絶滅の危機に瀕している種。
現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。</td><td rowspan="2">次のいずれかに該当する種。
【確実な情報があるもの】
1　既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。
2　既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。
3　既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。
4　ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。
【情報量が少ないもの】
5　それほど遠くない過去(10 年～35 年前後)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。</td><td>絶滅危惧
ⅠA類
(CR)</td><td>ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。</td><td>表4の評価点の合計が16以上</td></tr>
<tr><td>絶滅危惧
ⅠB類
(EN)</td><td>ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。</td><td>表4の評価点の合計が14～15</td></tr>
<tr><td>絶滅危惧Ⅱ類
Vulnerable
(VU)</td><td>絶滅の危険が増大している種。
現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの。</td><td colspan="3">次のいずれかに該当する種
【確実な情報があるもの】
1　大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。
2　大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。
3　大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。
4　分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。</td><td>表 4 の評価点の合計が 12～13</td></tr>
<tr><td>準絶滅危惧
Near Threatened
(NT)</td><td>存続基盤が脆弱な種。
現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの。</td><td colspan="3">次に該当する種。
生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。
1　個体数が減少している。
2　生息条件が悪化している。
3　過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。
4　交雑可能な別種が侵入している。</td><td>表4の評価点の合計が11</td></tr>
<tr><td>情報不足
Data Deficient
(DD)</td><td>「絶滅」「絶滅危惧」「準絶滅危惧」のいずれかに該当するのは確実と判断されるが、評価するだけの情報が不足している種。</td><td colspan="3">（維管束植物）
文献等により愛知県内に現存する、またはごく最近まで現存していたことは確実と判断されるが、裏付けとなる標本が確認できず、絶滅のおそれの程度について責任ある評価ができない種。ただし、すでに絶滅したと判断される種は「絶滅」と評価した。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>国リスト</td><td colspan="4">環境省レッドリストに掲載されているが、愛知県において上記の要件に該当しない種。</td><td>表4の評価点の合計が10以下</td></tr>
</table>

※準定量的要件は維管束植物のみ適用。

表 4　各評価項目の評価基準（維管束植物）

評価点 評価項目	4	3	2	1
個体数	10 未満	100 未満	1,000 未満	1,000 以上
集団数	1～2	3～5	6～15	16 以上
生育環境の減少傾向	著しく減少	やや減少	増減なし	増加
人為的圧力（開発圧・採取圧）の程度	極めて強い	強い	あり	なし
地域固有性	強い	やや強い	弱い	なし

４．調査結果

（１）概要

以上の手法により評価した結果、「レッドデータブックあいち 2020 植物編」に掲載された種（亜種・変種および品種のスハマソウを含む）の数は、表 5 のとおりである。

絶滅のおそれのある種（絶滅危惧Ⅰ類及びⅡ類）の数は 529 であり、その内訳は、維管束植物（種子植物・シダ植物）が 469、コケ植物（セン類・タイ類）が 60 となっている。また、現時点での絶滅危険度は小さいものの、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」種に移行する要素を有する種（準絶滅危惧）は、維管束植物が 111、コケ植物が 5 となっている。さらに、県内ですでに絶滅と判定された種は、維管束植物が 47、コケ植物が 3 となっている。

また、絶滅危惧のいずれかの階級に該当するのは確実と思われるが、情報不足として判断を見送った種の数は 3（いずれも維管束植物）である。

なお、環境省が平成 30 年度に公表した全国版レッドリスト掲載種のうち、本県での生育状況からは絶滅危険度が小さいなどとして愛知県版レッドデータブックではリスト外と判定された種および本県では評価外とされた種は 29 である。

「レッドリストあいち 2015」掲載種と比較すると、絶滅のおそれのある種（絶滅危惧Ⅰ類及びⅡ類）の数は 18 増加し、その内訳は、維管束植物が 17、コケ植物（セン類）が 1 となっている。また、県内では既に絶滅した種の数は 2015 年と同数であった。ただし、絶滅種が同数でおさまったのは、評価区分基準の中で「絶滅」のうち情報量が少ないものの要件を、国や動物編に近づけて「過去 35 年前後‥‥（具体的には 1985 年以降）」に変更したことによる影響が大きい。愛知県の維管束植物は、1990 年代前半に多くの人の協力を得て広範な調査が行われ、今回のレッドデータブックも相当部分はその時に採集された標本が基礎資料になっている。しかしその後は基本的に補充調査で、当時ほどの規模の調査はできていない。とりわけ愛知県で特に稀少植物が集中して生育する湧水湿地は、1988～1991 年に詳細な現況調査を行った（芹沢 1992）が、立ち入ればどうしても撹乱を伴うため、その後は原則として調査を避けている。当時調査に協力してくださった方の中には、すでに故人となられたり、調査活動から離れられたりした方も多い。そのため、植物が生育していた場所の正確な位置がわからないものも少なくない。最近は三河山地ではニホンジカによる食害、丘陵地では里山の森林化に伴う管理された里草地の減少が激しく、調査に行っても稀少な植物がほとんど見当たらないこともしばしばである。「おそらく絶滅またはそれに近い状態になっているだろう」と思われることも多いのだが、そのような場合でも大抵は前に確認された場所の正確な位置がわからないため、「絶滅」と断定しにくい。そのようなわけで絶滅した種の数は、実際には過去に比べ相当数増加しており、その分絶滅危惧ⅠA類が減少すると思われる。本来ならば 30 年も経てば全面再調査が必要だが、愛知県の場合は県立自然史博物館がないために標本収蔵能力の制約があり、なごや生物多様性センターを拠点とすることができる名古屋市とその近郊以外は、全面再調査の目途は立っていない。

表 5　「レッドデータブックあいち 2020 植物編」掲載種数

評価区分 / 対象	絶滅 (EX)	絶滅のおそれのある種				準絶滅危惧 (NT)	情報不足 (DD)	計	国リスト	県内自生在来種数
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧ⅠB類 (EN)	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	小計				環境省レッドリスト掲載種	
維管束植物　（小計）	47 (47)	105 (90)	175 (179)	189 (183)	469 (452)	111 (115)	3 (3)	630 (617)	28 (25)	2,444
シダ植物 （小葉植物を含む）	3 (3)	12 (11)	27 (22)	24 (24)	63 (57)	11 (13)	0 (0)	77 (73)	0 (0)	312
裸子植物	0 (0)	0 (0)	2 (2)	3 (3)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	30
被子植物　原始被子植物	0 (0)	3 (2)	2 (3)	3 (3)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	1 (1)	45
単子葉類	15 (16)	36 (31)	54 (59)	66 (64)	156 (154)	33 (32)	0 (0)	204 (202)	10 (9)	666
真正双子葉類	29 (28)	54 (46)	90 (93)	93 (89)	237 (228)	64 (67)	3 (3)	333 (326)	17 (15)	1,391
コケ植物　（小計）	3 (3)	17 (14)	19 (22)	24 (23)	60 (59)	5 (6)	0 (0)	68 (68)	1 (0)	618
セン類	0 (0)	16 (13)	15 (18)	19 (18)	50 (49)	5 (5)	0 (0)	55 (54)	0 (0)	443
タイ類	3 (3)	1 (1)	4 (4)	5 (5)	10 (10)	0 (1)	0 (0)	13 (14)	1 (0)	175
計	50 (50)	122 (104)	194 (201)	213 (206)	529 (511)	116 (121)	3 (3)	698 (685)	29 (25)	3,062

注 1：表中（　）内は、「レッドリストあいち 2015」の掲載種数を示す。

注 2：国リストとは、環境省が平成 30 年度に公表したレッドリスト掲載種のうち、本県のリスト対象外と判定された種を示す。

注 3：維管束植物の県内自生在来種数は「グリーンデータブックあいち 2017」（愛知県環境部自然環境課, 2017）による。亜種、変種、品種、雑種を含む。

注 4：タイ類の県内自生在来種数は「グリーンデータブックあいち 2018」（愛知県環境部自然環境課, 2018）による。外来種（2 種）を除く。

（２）維管束植物（種子植物・シダ植物）

① 愛知県における維管束植物の概況

愛知県に野生状態で生育する維管束植物（種子植物とシダ植物）は、グリーンデータブックあいち 2017 維管束植物編によれば、表 6 のとおりである。日本に本来自生する維管束植物は約 7,000 種（亜種・変種を含む)、それに対して愛知県の自生在来種は 2017 年以降に存在が明らかになったテンリュウヌリトラノオを含めて 2,444 種であるから、その約 35%が愛知県に自生していることになる。

表 6　愛知県の維管束植物

植物群		小葉植物	大葉シダ植物	裸子植物	被子植物			計
					原始被子植物	単子葉類	真正双子葉類	
在来	種※1	20	301	33	59	875	2,063	3,351
	品種※2	0	12	1	2	44	218	277
	雑種	2	107	1	3	32	97	242
計		22	420	35	64	951	2,378	3,870
外来種※3		2	10	14	15	227	717	985

※1：亜種・変種を含む。
※2：園芸品種を含む。
※3：内数である。帰化種のほか、国内移入、園芸植物起源で雑草化していないもの、多量に野外植栽されているもの等を含む。

この数は、隣接する静岡県や長野県には及ばないが、全国的に見ればそれほど少ない数ではない。愛知県の最高点は茶臼山の 1,415m にすぎないが、それでも中部山岳地帯の南端に位置し、木曽山脈の中心部まで山続きである。天竜川の谷をはさんで、赤石山脈南部とも接している。そのため、かなりの温帯性植物や東日本系の植物が、愛知県まで辛うじて到達している。一方、渥美半島は黒潮が洗う温暖な地であり、豊川の谷も冬季の季節風が入らないため温暖で、それなりに暖地性の植物が生育している。本州脊梁山脈の切れ目に当たる関ヶ原に近いため、太平洋側にありながら、日本海系の植物もいくつか生育している。地質的には県の南東部を中央構造線が走り、西日本系の植物もある程度見られる。濃尾平野の木曽三川下流部は三角州地帯で、もともとは広大な低湿地が広がっていた場所である。三河湾は深く内陸に入り込み、水深が浅く、塩湿地が発達している。このため、低湿地性・塩湿地性の植物も一通り見られる。尾張西部から西三河東部にかけての東海層群の丘陵地は森林の発達が悪く、やせ山の中に小湿地が点在しており、東三河にはチャートや流紋岩、石灰岩の岩山、蛇紋岩地などもあって、非森林性植物の宝庫である。シデコブシ、ウラジロギボウシ、シラタマホシクサ、ホソバシャクナゲ、ナガボナツハゼなどの固有種、ヤチヤナギ、マメナシ、ヒトツバタゴ、ヒメミミカキグサなどの著しい隔離分布種もかなりある。そのため、愛知県に生育する維管束植物の種類数はかなりの数になる。しかし、他県から来た人が県内を歩き回ってみても、とてもこれほどの種類数があるとは思えないだろう。愛知県は良好な森林が少なく、植物相は一見したところかなり貧弱である。特徴的な植物は、ほとんどがあちらに 1 株、こちらに 1 株というように、僅かに生育しているだけである。全国的に見れば普通種なのに、愛知県では極めて稀という植物もかなりの数になる。種類数はまあまあるが、個体数が少ないというのが、愛知県の植物相の基本的な特徴である。以下に、県内を山地、丘陵地、平野部、海浜に分け、それぞれを更に森林、草地・岩崖地などの乾～中性の非森林域、湿地、水界に分けて植生と植物相の概要を記述するが、ここに例示したような植物は、ほとんどが絶滅が危惧される状態である。

○ 山地の植物

【 森林 】

県の北東部を占める三河山地は、天竜川沿いの一部地域と鳳来寺山周辺を除けば全体的になだらかな地形をしており、山間部に集落が点在している。そのため自然林はほとんど残存しておらず、大部分がスギ、ヒノキの造林地か、落葉広葉樹の二次林になっている。設楽町段戸山にはまとまった自然林があったが、第二次世界大戦後に伐採され、現在では裏谷の一部が学術考証林として残されているにすぎない。豊田市（旧稲武町）面ノ木峠には小面積ながらブナの自然林が残されており、そのほか断片的ではあるが、ウラジロモミ、コウヤマキなどの林もある。暖帯域では、新城市（旧鳳来町）の一部などに自然度の高い林が残されている。

三河山地は中部山岳地帯の南端に位置しており、中部山岳地帯には比較的普通に見られるが、それより南には分布していないシラカンバ、ウダイカンバ、ベニバナイチヤクソウ、セリバシオガマ、ヒメマイヅルソウのような温帯性植物の南限になっている。ヤマクワガタ、オクヤマコウモリ、ユモトマムシグサのような中部地方固有種のいくつかも、その南限が辛うじて愛知県に達している。ハイイヌガヤ、サワアザミ、ホソバカンスゲなどの日本海系の植物も見られる。愛知県とその周辺の山地森林に固有な植物であるミカワコケシノブ、キバナハナネコノメ、トヨボタニソバ、エンシュウツリフネ、タチキランソウ、ダンドタムラソウ、ヒダアザミなども、いずれも温帯域に生育している。

一方、新城市（旧新城市から旧鳳来町にかけて）の豊川の谷は、冬季の季節風が吹き込まないために温暖で、タキミシダ、イヨクジャク、バリバリノキ、ミヤマトベラ、ナガバジュズネノキ、ルリミノキなどの暖地性の植物が生育している。東三河のチャボシライトソウ、カミガモシダ、西三河のシリブカガシ、シロバイなども分布域の東限、またはそれに近い。ただし、愛知県では中央構造線南側に大きい山がなく、クサヤツデ、テイショウソウ、チャボホトトギスのような種は生育していない。低山地の森林に見られる温帯性植物としては、東三河の一部に、著しい隔離分布となるミヤマキヌタソウが僅かに生育しているのが特に注目される。

【 草地・岩崖地など 】

鳳来寺山周辺は古い火山で、流紋岩や安山岩の岩山が多く、ホソバシャクナゲ、ウラジロギボウシ、ビロードノリウツギ、クロバナキハギなどの固有種・準固有種が生育している。エゾノヒメクラマゴケ、キンキマメザクラ、イワシャジン、ゼンテイカなどの南限にもなっている。崖下には夏でも冷たい風が出る風穴が点在しており、ホソイノデ、ミヤマワラビ、ミツバフウロ、ハシドイなどの温帯性植物が生育している。鳳来寺山系以外の岩崖地では、天竜川に面した岩尾根に、分布域の南限となるオノオレカンバが見られる。石灰岩地は、愛知県では小規模なものが点在しているにすぎず、特徴的な植物もそれほど多くないが、コバノチョウセンエノキは分布域の東限にあたる。温帯性のイワシモツケも見られる。木曽川、庄内川、矢作川、豊川などの河川中流域の渓岸にはヤシャゼンマイ、サツキ、サワヒメスゲが多く、アオヤギバナ、キイイトラッキョウなども生育している。

一方、中央構造線沿いには蛇紋岩、かんらん岩などの超塩基性岩地が点在しており、半裸地状の草地や疎林となっていて、ジングウツツジ、シマジタムラソウなどの固有種やミシマサイコ、ムラサキセンブリ、ヤマジソ、マツムシソウ、ヤナギノギクなどが生育している。トサオトギリ、ヒゴタイ、ヒメユリなども生育していたが、すでに絶滅して現在は見られない。中央構造線南側はチャートの岩山が多く、固有種のイワタカンアオイ、分布域の東限に近いキスミレなどが生育している。

ただし、山地の尾根部などで集落共同の採草地とされてきたカヤ場は、利用の停止に伴い森林化が進み、ほとんど消失している。ムラサキ、シオガマギク、ヤマノコギリソウ、モリアザミ、ヒメヒゴタイなどの草地性植物は、ほとんどが絶滅、またはそれに近い状態である。

【 湿地と水界 】

三河山地の準平原には、ヌマガヤが優占する中間湿原が点在している。特に設楽町名倉地区と新城市（旧作手村）には規模の大きいものがあったが、いずれも終戦後の食糧難の時代に開拓され、中心部分は消滅した。これらの湿原にはヤチシャジン、ミコシギクなどの大陸系の植物やサギスゲ、ミタケスゲ、ヌマクロボスゲ、ヒメザゼンソウなどの寒冷地系の植物が生育しており、コバイケイの一型であるミカワバイケイソウも多かったが、その多くは絶滅し、あるいは僅かに残存しているだけである。本地域の代表的な固有種の一つであるハナノキは、県の木に指定されているが、県内では自生のものは少なく、小群落は豊根村の 1 カ所だけで、あとは単木状態である。山地の水界に生育する植物としては、コバノリュウキンカが注目される。

○ 丘陵地の植物

【 森林 】

丘陵地では、豊橋市の太平洋（表浜）に面した急傾斜地に自然度の高いシイ林が点在しているほかは、小規模な社寺林を除けば照葉樹林はほとんど残存していない。大部分はコナラ、アベマキなどの落葉広葉樹二次林かアカマツ林であったが、薪炭林としての利用の放棄やマツノザイセンチュウによるマツ枯れに伴って遷移が進行し、明るい林床を好む植物が激減する反面、ムヨウラン類、ホンゴウソウなどのよい生育地になっている。ヒメイカリソウ、アキチョウジなどの西日本系の植物や、スミレサイシン、コタチツボスミレ、オオタチツボスミレ、イワナシなどの日本海系の植物も生育している。エビネ、キンランなどは二次林の林内に多かったが、園芸目的の採取により急激に減少した。

西三河西部から尾張東部にかけての東海層群の丘陵地は、地形はなだらかであるが植生の発達が悪く、尾根部などのやせ地は貧弱なアカマツ、ソヨゴなどの林になっていることが多い。このような場所では、フモトミズナラと呼ばれるミズナラの低地型、ネズミサシとハイネズの浸透交雑に起源するオキアガリネズ、ミカワツツジと呼ばれるヤマツツジの一型などが多く見られる。

【 草地・岩崖地など 】

丘陵地の里草地は急速に減少しているが、それでも全国的に見れば状況がよい方で、まだキキョウ、オミナエシなど多くの草地性植物が生育している。ただし、オキナグサなどは、愛知県でもほぼ絶滅状態である。東海層群の丘陵地では、尾根部の半裸地に大陸系の植物であるウンヌケが多く生育している。水田周辺などのやや湿った草地には、ケブカツルカコソウなども見られる。愛知用水などの幹線水路沿いは定期的に草刈りが行われるため、ヒロハノカワラサイコ、イヌハギ、カセンソウなど多くの草地性植物の逃避場所になっていた。しかし、近年水路のコンクリート護岸化が進行し、これらの植物の多くは危機的な状況である。知多半島先端部の人里周辺の路傍などには、キビシロタンポポと共に、分布域の東限となる黄花型のヤマザトタンポポが生育している。

【 湿地 】

東海層群の丘陵地では、その中の粘土層が不透水層となって、全体に乾燥した中に湧水に涵養された小湿地が点在している。チャートの岩山の麓でも、岩盤が不透水層になって湿地ができる。典型的な場所では、湧水の水質はほとんど雨水と変わらないほど貧栄養で、湿地の中心部はミミカキ

グサ類やケシンジュガヤ、イトイヌノヒゲなどが点在するだけの裸地状となっている。その周辺にはミカズキグサ、ヌマガヤなどが群落を作る。やや富栄養の場所は、イヌノハナヒゲ、コイヌノハナヒゲなどの群落になる。このような湧水湿地とその周辺には、シデコブシ、シラタマホシクサ、ヘビノボラズ、ナガバノイシモチソウ、クロミノニシゴリ、ミカワシオガマ、シマジタムラソウなどの固有・準固有種に加えて、ヒメミミカキグサ、ミカワシンジュガヤなどの熱帯系の種、ヤチヤナギ、イワショウブ、ミズギク、ミカワバイケイソウなどの寒冷地性の種、マメナシ、ヒトツバタゴ、ミコシギクなどの大陸系の種が生育している。

【 水界 】

丘陵地には小規模なため池が点在しており、ヒメコウホネ、ガガブタ、ミカワタヌキモ、ヒメタヌキモ、マルバオモダカ、マルミスブタ、オオトリゲモ、ムサシモ、イバラモなどが生育している。秋期に水が干上がった時には、底土上にヌマカゼクサ、ウキシバ、メアゼテンツキ、クロテンツキ、アオテンツキなどが群落を作り、分布域の東限となるオオホシクサのほか、クロホシクサ、トネテンツキ、オオシロガヤツリなども生育する。谷戸田やその周辺の浅い水路などの水中には、セトヤナギスブタ、ヒロハトリゲモなどが見られる。

○ 平野部の植物

【 森林 】

平野部の社寺林では、ウスバシケシダが点在しているのが注目される。河川高水敷の林内には、時にアイズスゲのような、山地性の植物が生育していることがある。

【 草地・岩崖地など 】

平野部の非森林植生としては、木曽川下流部の河岸砂丘が特徴的である。ここでは、カワラアカザ、ビロードテンツキなどが生育している。扇状地に発達する礫の河川敷には、カワラサイコ、カラメドハギ、カワラハハコ、カワラヨモギなどが群落を作る。河川の堤防も平野部では貴重な草地で、カワラマツバ、コケリンドウ、スズサイコ、ヒメシオンなどが見られる。人里周辺の攪乱地に生育する植物の中では、ツクシメナモミ、オナモミなどが注目される。

【 湿地 】

濃尾平野の木曽三川下流部は、日本でも有数の湿地帯であったが、明治改修により大きくその姿を変えた。現在では、河川敷などに昔の面影が残されている。中小河川では、五条川が特に重要である。この地域では、キヌヤナギのほか、マルバタネツケバナ、キソガワシシウドと仮称した固有分類群がある。エキサイゼリも関東地方以外では唯一の自生地であり、東日本系のシロバナタカアザミ、西日本系のホザキマスクサなども見られる。絶滅危惧種の例としてよく取り上げられるフジバカマも点在している。ただし、ヒキノカサ、ノカラマツ、ハナムグラ（岐阜県側にはある）、タチスミレなどは現在のところ発見されていない。矢作川、豊川の河川敷は、木曽川に比べれば規模が小さいが、シロネは現在のところ矢作川と境川で確認されているだけである。デンジソウ、サンショウモ、ミズタガラシ、ミズネコノオ、オオアブノメ、ミズアオイ、ミズタカモジなどは湿田の雑草であったが、乾田化により急激に減少した。

【 水界 】

平野部の小水路やため池には、オニバス、フサタヌキモ、アサザ、ヒメシロアサザなど多くの水草が生育しており、水草の宝庫であったらしい。しかし、伊勢湾台風の高潮で壊滅的な打撃を受けた後、水の汚染によって回復が進まず、現在ではほとんどの水草が絶滅状態である。トチカガミの

ようなものもあまり残っておらず、岐阜県側では大きな群落があるコウホネ、ササバモ、コウガイモなども愛知県では生育地が限定されている。

○ 海浜の植物

【 森林 】

愛知県は海岸部も全体的に開発が進み、本来の自然が残存している場所は少ない。しかし、三河湾の一部の小島には照葉樹の自然林が残されており、タチバナ、キノクニスゲなどの東限となっている。知多半島先端の師崎羽豆神社社叢にはビャクシンが自生状に生育しており、渥美半島先端部にはカンコノキ、ハクサンボクがある。

【 草地・岩崖地など 】

海岸部の砂浜や砂丘は、飛砂防止のためにクロマツの植栽が進み、本来の姿は著しく失われている。伊良湖西ノ浜では、かつてはタチスズシロソウ、ハマビシなどが生育していたが、絶滅した。恋路が浜にはハマオモトが生育していたらしいが、これは園芸目的の採取によって絶滅した。このほかの砂浜の植物としては、日本では他の場所で現存が確認できないハギクソウ、分布域の西限となるハマコウゾリナ、太平洋側のほぼ西限となるハイネズ、寒冷地の海岸に多いスナビキソウのほか、ハマネナシカズラ、イワダレソウ、ハマウツボ、ネコノシタ、ビロードテンツキなどが見られる。

海浜の岩崖地や風衝地には、ハマヒサカキ、ハチジョウススキ、ハマカンゾウ、アゼトウナなどが生育している。ただし、特徴的な植物はそれほど多くなく、ボタンボウフウ、イソギク、ヒゲスゲなどもごく僅かに見られるだけである。むしろ、ラセイタソウなどが生育していないことが特徴である。三河湾の篠島、日間賀島、佐久島などには、県内の他の場所ではほとんど見られないハチジョウイノコヅチが比較的多く生育している。

【 湿地 】

三河湾奥部の塩湿地は、埋立てにより相当部分が消失している。僅かに残された部分には、分布域の東限となるヒロハマツナ、フクドのほか、イソホウキギ、ハマサジ、シバナ、ハマボウ、ヒメヨモギ、ウラギク、イセウキヤガラなどが生育している。伊勢湾では塩湿地はほとんど残存しておらず、貯木場跡などの二次的な場所も最近の開発で急速に消滅した。現在では僅かにウラギク、イセウキヤガラなどが見られるにすぎない。水路わきや養魚場跡の湿地には、チャボイなどが生育している。

【 水界 】

海岸近くの小水路、養魚場跡などには、カワツルモ、リュウノヒゲモなどが生育している。これらの水草は減少傾向が著しいが、一部にはまだ大きい群落がある。海域の水中に生育する海産種子植物はもともと種類数が少なく、愛知県では、内湾性のアマモ、コアマモ、ウミヒルモ（絶滅）、外洋性のエビアマモの 4 種が記録されているだけである。

② 愛知県における絶滅危惧種の概況

今回のリストに掲載された絶滅危惧Ⅱ類以上の絶滅・絶滅危惧種は、11 頁の表 5 に示すように 516 である。この数は、愛知県の本来の野生植物種 2,444 の 21.1%にあたる。準絶滅危惧種、情報不足種を含めた数は 630 で、全体の 25.8%にあたる。環境省のレッドリストでは、絶滅危惧Ⅱ類以上が 1,825 で総数約 7,000 の約 26%、準危惧種・情報不足種を含めた数は 2,159 で約 31%となっており、

比率としては愛知県の方がやや低めである。この原因は、主として環境省版では対象地域の中に南西諸島、小笠原諸島などの絶滅危惧植物の割合が極めて高い地域を含むことによると思われるが、一部は不十分な数値情報をもとに評価が行われたため、どう見ても絶滅危惧植物には該当しそうもない種が混入していることにもよる。

植物群毎に見ると、園芸目的で採取されることが多いラン科、ユリ科、水草や湿地性植物の多いトチカガミ科、ヒルムシロ科、イバラモ科、ホシクサ科、カヤツリグサ科などを含む単子葉植物は、他の群に比べて絶滅危惧種の割合が高くなっている。ラン科は特に絶滅危惧種の割合が高く、愛知県の自生種総数 83 のうち 53 が今回のリストに掲載されている。

カテゴリー毎の割合を見ると、準絶滅危惧種と情報不足種を含めた総数 630 のうち、絶滅（EX）は 47（7.5%）、絶滅危惧ⅠA類（CR）は 105（16.7%）、絶滅危惧ⅠB類（EN）は 175（27.8%）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）は 189（30.0%）、準絶滅危惧（NT）は 111（17.6%）、情報不足（DD）は 3（0.5%）である。一方、環境省のレッドリストでは、絶滅・野生絶滅は 39（1.8%）、絶滅危惧ⅠA類は 525（24.3%）、絶滅危惧ⅠB類は 520（24.1%）、絶滅危惧Ⅱ類は 741（34.3%）、準絶滅危惧は 297（13.8%）、このほかに情報不足（DD）として掲載されたものが 37 あり、全掲載種数は 2,159 である。両者を比較すると絶滅・野生絶滅の割合は愛知県の方がかなり高く、これは対象面積の狭さと、大都市近郊という地理的な特性によるものと思われる。絶滅危惧ⅠA類の割合は逆に愛知県の方がかなり少ないが、これは資料編で述べたように、評価手法の差によるものと考えられる。環境省は IUCN の E 基準を優先的に用いたとしているが、常識的に考えて、10 年後の絶滅確率が 50%の絶滅危惧ⅠA類と 20 年後 20%の絶滅危惧ⅠB類がほぼ同数ということはあり得ない。そもそも、絶滅危惧ⅠA類が 500 種以上もあれば、多少保護策がとられたとしても、10 年後には 100 種くらいは絶滅してくれないと話が合わないが、現実にはそのような事態は起きていない。環境省の手法は、日本の生物多様性が維管束植物のような生物群でもまだ十分解明されていないことを無視したもので、その点でどう見ても不適切である。

減少の要因は種毎にそれぞれ記述したが、全体としてみると里山の二次林や草地の利用停止に伴う遷移の進行（造林地の手入れ不足による被陰を含む）、開発による生育地の破壊（水の汚染による生育環境の破壊を含む）、園芸目的の採取が、植物を絶滅の危機に追い込んでいる三大要因である。このうち遷移の進行は、それ自体は自然現象である。しかし、遷移の進行が問題になる背景としては、その前段階として人間が生活域を拡大する過程でさまざまな遷移段階を含む本来の自然環境を破壊し、それらの植物のもともとの生活場所を奪って、彼らを薪炭林や採草地、あるいは造林地のような人為的環境に追い込んできたという経緯がある。湧水湿地の植物にしても、治山事業等によって新たな湿地が形成される条件をなくせば、遷移に追われた植物は次の行き場を失ってしまう。このような見方をすれば、一部の先駆種的な植物以外の大部分の種については、遷移の進行も人為的環境破壊の一つの型と見なすべきである。また、「レッドデータブックあいち 2009」刊行後、特に顕著になったのがニホンジカによる食害で、三河山地の相当部分で林床植生がほぼ消失している。2009 年版では「鈴鹿山脈や大台ヶ原山のような壊滅的状態になる前に、早く対策を講じる必要がある」と述べたが、危惧は現実になってしまった。

一方、環境省のレッドリストに掲載されているが今回愛知県で絶滅危惧種・準絶滅危惧種と判定されなかった植物も 24 種ある。これらの一部は、愛知県では絶滅が危惧されるような状態ではないが全国的には減少傾向の著しい植物で、その意味で愛知県においても「全国的に危急」としてリストに掲載し、保護の対象としてよい植物である。他の一部は、情報不足のため環境省のリストに掲

載されたと思われるもので、これらは将来調査が進めば、リストから削除される可能性が高い。しかし今回は、この両者を的確に区別するだけの資料がなかったので、「全国的に危急」というカテゴリーは設置しなかった。これら 24 種については、「国リスト」としてレッドリストに付録として掲載し、愛知県では評価対象としなかったニッケイ、ツツイトモ、ハマナツメ、サクラガンピと共に、「掲載種の解説」の章では他の掲載種とほぼ同様の形式で県内の状況を記述した。

なお、「レッドリストあいち 2015」掲載種のうち、今回の見直しによってリストから除外された種とその理由は以下のとおりである。

除外種

No.	科 名	和 名	見直し前 県ランク	除外理由
1	バラ	バクチノキ	NT	最近増加傾向にあり、リスト外と判断された。

③ 愛知県維管束植物レッドリスト

科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として「グリーンデータブックあいち 2017 維管束植物編」に従った。

絶滅（EX）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ヒメシダ	テツホシダ	*Thelypteris interrupta* (Willd.) K.Iwats.	
2	メシダ	ミヤマシダ	*Diplazium sibiricum* (Turcz. ex Kunze) Sa.Kurata var. *glabrum* (Tagawa) Sa.Kurata	
3	オシダ	オリヅルシダ	*Polystichum lepidocaulon* (Hook.) J.Sm.	
4	トチカガミ	ウミヒルモ	*Halophila ovalis* (R.Br.) Hook.f.	NT
5	ヒルムシロ	センニンモ	*Potamogeton maackianus* A.Benn.	
6	ユリ	ヒメユリ	*Lilium concolor* Salisb. var. *partheneion* (Siebold et de Vries) Baker	EN
7	ラン	ヒナラン	*Amitostigma gracile* (Blume) Schltr.	EN
8	ラン	イワチドリ	*Amitostigma keiskei* (Maxim. ex Franch. et Sav.) Schltr.	EN
9	ラン	オオミズトンボ	*Habenaria lineariforia* Maxim.	EN
10	ラン	ムカゴソウ	*Herminium lanceum* (Thunb. ex Sw.) J.Vuijk	EN
11	ラン	ツクシサカネラン	*Neottia kiusiana* Hashim. et Hatus.	EX
12	ラン	ムカゴトンボ	*Peristylus flagellifer* (Makino) Ohwi ex K.Y.Lang	EN
13	ヒガンバナ	ハマオモト	*Crinum asiaticum* L. var. *japonicum* Baker	
14	キジカクシ	キジカクシ	*Asparagus schoberioides* Kunth	
15	カヤツリグサ	トダスゲ	*Carex aequialta* Kükenth.	CR
16	カヤツリグサ	ミスミイ	*Eleocharis acutangula* (Roxb.) Schult.	EN
17	カヤツリグサ	ツクシカンガレイ	*Schoenoplectiella multiseta* (Hayas. et C.Sato) Hayas.	
18	イネ	ビロードキビ	*Brachiaria villosa* (Lam.) A.Camus	EN
19	ベンケイソウ	ベンケイソウ	*Hylotelephium erythrostictum* (Miq.) H.Ohba	
20	ハマビシ	ハマビシ	*Tribulus terrestris* L.	EN
21	オトギリソウ	トサオトギリ	*Hypericum tosaense* Makino	CR
22	ミソハギ	ミズスギナ	*Rotala hippuris* Makino	CR
23	アカバナ	ヤナギラン	*Chamerion angustifolium* (L.) Holub	
24	アブラナ	タチスズシロソウ	*Arabidopsis kamchatica* (DC.) K.Shimizu et Kudoh subsp. *kawasakiana* (Makino) K.Shimizu et Kudoh	EN
25	ムラサキ	ムラサキ	*Lithospermum erythrorhizon* Sieb. et Zucc.	EN
26	ムラサキ	ハイルリソウ	*Nihon proliferum* (Ohwi) A.Otero et al.	CR
27	ヒルガオ	マメダオシ	*Cuscuta australis* R.Br.	CR
28	オオバコ	ヒシモドキ	*Trapella sinensis* Oliver	EN
29	ゴマノハグサ	ゴマノハグサ	*Scrophularia buergeriana* Miq.	VU
30	シソ	ヒメハッカ	*Mentha japonica* (Miq.) Makino	NT
31	ハマウツボ	オオナンバンギセル	*Aeginetia sinensis* G.Beck.	
32	ハマウツボ	イズコゴメグサ	*Euphrasia insignis* Wettst. subsp. *iinumae* (Takeda) Yamazaki var. *idzuensis* (Takeda) Yamazaki	EN
33	ハマウツボ	タチコゴメグサ	*Euphrasia maximowiczii* Wettst.	
34	タヌキモ	フサタヌキモ	*Utricularia dimorphantha* Makino	EN
35	タヌキモ	コタヌキモ	*Utricularia intermedia* Heyne	
36	キキョウ	ヤチシャジン	*Adenophora palustris* Kom.	CR
37	キキョウ	バアソブ	*Codonopsis ussuriensis* (Rupr.et Maxim.) Hemsl.	VU

38	ミツガシワ	ミツガシワ	*Menyanthes trifoliata* L.	
39	キク	ヤマノコギリソウ	*Achillea alpina* L. var. *discoidea* (Regel) Kitam.	
40	キク	モリアザミ	*Cirsium dipsacolepis* (Maxim.) Matsum.	
41	キク	フジアザミ	*Cirsium purpuratum* (Maxim.) Matsum.	
42	キク	ヒゴタイ	*Echinops setifer* Iljin	VU
43	キク	ヤマタバコ	*Ligularia angusta* (Nakai) Kitam.	CR
44	キク	カニコウモリ	*Parasenecio adenostyloides* (Franch. et Sav. ex Maxim.) H.Koyama	
45	キク	ヒメヒゴタイ	*Saussurea pulchella* (Fisch. ex Hornem.) Fisch.	VU
46	セリ	ホタルサイコ	*Bupleurum longeradiatum* Turcz.	
47	セリ	ヌマゼリ	*Sium suave* Walter var. *nipponicum* (Maxim.) H.Hara	VU

絶滅危惧ⅠA類（CR）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ヒカゲノカズラ	ヒモラン	*Huperzia sieboldii* (Miq.) Holub	EN
2	デンジソウ	デンジソウ	*Marsilea quadrifolia* L.	VU
3	サンショウモ	オオアカウキクサ	*Azolla japonica* (Franch. et Sav.) Franch. et Sav. ex Nakai	EN
4	サンショウモ	アカウキクサ	*Azolla pinnata* R.Br. subsp. *asaitica* R.M.K.Saunders et K.Fowler	EN
5	サンショウモ	サンショウモ	*Salvinia natans* (L.) All.	VU
6	イワヤシダ	イワヤシダ	*Diplaziopsis cavaleriana* (Christ) C.Chr.	
7	ヒメシダ	ニッコウシダ	*Thelypteris nipponica* (Franch. et Sav.) Ching	
8	ヒメシダ	オオバショリマ	*Thelypteris quelpaertensis* (H.Christ) Ching	
9	メシダ	ミヤマメシダ	*Athyrium melanolepis* (Franch. et Sav.) H.Christ	
10	メシダ	ミドリワラビ	*Deparia viridifrons* (Makino) M.Kato	
11	メシダ	イヨクジャク	*Diplazium okudairae* Makino	EN
12	オシダ	ナガサキシダ	*Dryopteris sieboldii* (van Houtte ex Mett.) Kuntze	
13	スイレン	オニバス	*Euryale ferox* Salisb.	VU
14	スイレン	オグラコウホネ	*Nuphar oguraense* Miki	VU
15	スイレン	ヒメコウホネ	*Nuphar subintegerrimum* (Casp.) Makino	VU
16	サトイモ	ヒトツバテンナンショウ	*Arisaema monophyllum* Nakai	
17	サトイモ	ザゼンソウ	*Symplocarpus foetidus* Salisb. ex W.P.C.Barton var. *latissimus* H.Hara	
18	サトイモ	ヒメザゼンソウ	*Symplocarpus nipponicus* Makino	
19	トチカガミ	セトヤナギスブタ	*Blyxa alternifolia* (Miq.) Hartog	EN
20	トチカガミ	スブタ	*Blyxa echinosperma* (C.B.Clarke) Hook.f.	VU
21	トチカガミ	イバラモ	*Najas marina* L.	
22	ヒルムシロ	イトクズモ	*Zannichellia palustris* L.	VU
23	サクライソウ	サクライソウ	*Petrosavia sakuraii* (Makino) J.J.Sm. ex Steenis	EN
24	ユリ	コシノコバイモ	*Fritillaria koidzumiana* Ohwi	
25	ラン	キンセイラン	*Calanthe nipponica* Makino	VU
26	ラン	カンラン	*Cymbidium kanran* Makino	EN
27	ラン	マヤラン	*Cymbidium macrorhizon* Lindl.	VU
28	ラン	ナギラン	*Cymbidium nagifolium* Masam.	VU
29	ラン	サワラン	*Eleorchis japonica* (A.Gray) F.Maek.	
30	ラン	カシノキラン	*Gastrochilus japonicus* (Makino) Schltr.	VU
31	ラン	ナヨテンマ	*Gastrodia gracilis* Blume	EN
32	ラン	フガクスズムシソウ	*Liparis fujisanensis* F.Maek. ex F.Konta et S.Matsumoto	VU
33	ラン	スズムシソウ	*Liparis makinoana* Schltr.	
34	ラン	ツレサギソウ	*Platanthera japonica* (Thunb.) Lindl.	
35	キジカクシ	ウラジロギボウシ	*Hosta hypoleuca* Murata	EN
36	ミズアオイ	ミズアオイ	*Monochoria korsakowii* Regel et Maack	NT
37	ガマ	ヒメミクリ	*Sparganium subglobosum* Morong	VU
38	ホシクサ	オオホシクサ	*Eriocaulon buergerianum* Koernicke	
39	イグサ	イヌイ	*Juncus fauriei* H.Lev. et Vaniot	
40	カヤツリグサ	アワボスゲ	*Carex brownii* Tuck.	
41	カヤツリグサ	スナジスゲ	*Carex glabrescens* (Kuk.) Ohwi	
42	カヤツリグサ	ヌマクロボスゲ	*Carex meyeriana* Kunth	VU
43	カヤツリグサ	ホザキマスクサ	*Carex planata* Franch. et Sav. var. *angustealata* Akiyama	VU
44	カヤツリグサ	ヒメアオガヤツリ	*Cyperus pygmaeus* Rottb.	
45	カヤツリグサ	カガシラ	*Diplacrum caricinum* R.Br.	VU
46	カヤツリグサ	サギスゲ	*Eriophorum gracile* K.Koch subsp. *coreanum* (Palla) Hulten	
47	カヤツリグサ	イッスンテンツキ	*Fimbristylis kadzusana* Ohwi	CR
48	カヤツリグサ	ナガボテンツキ	*Fimbristylis longispica* Steud.	
49	カヤツリグサ	ミクリガヤ	*Rhynchospora malasica* C.B.Clarke	EN
50	カヤツリグサ	ハタベカンガレイ	*Schoenoplectiella gemmifera* (C.Sato, T.Maeda et Uchino) Hayas.	VU
51	イネ	ミズタカモジ	*Elymus humidus* (Ohwi et Sakam.) A.Lowe	VU
52	キンポウゲ	エンコウソウ	*Caltha palustris* L. var. *enkoso* H.Hara	
53	キンポウゲ	コバノリュウキンカ	*Caltha palustris* L. var. *pygmaea* Makino	
54	キンポウゲ	オキナグサ	*Pulsatilla cernua* (Thunb.) Bercht. et C.Presl	VU
55	キンポウゲ	タマカラマツ	*Thalictrum watanabei* Yatabe	VU
56	アリノトウグサ	オグラノフサモ	*Myriophyllum oguraense* Miki	VU
57	マメ	シバハギ	*Desmodium heterocarpon* (L.) DC.	
58	バラ	ヒロハノカワラサイコ	*Potentilla nipponica* Th.Wolf	VU

59	バラ	マメナシ	*Pyrus calleryana* Decne.	EN
60	バラ	イワシモツケ	*Spiraea nipponica* Maxim.	
61	イラクサ	ミヤコミズ	*Pilea kiotensis* Ohwi	
62	ヤマモモ	ヤチヤナギ	*Myrica gale* L. var. *tomentosa* C.DC.	
63	ニシキギ	ヒロハツリバナ	*Euonymus macropterus* Rupr.	
64	トウダイグサ	ハギクソウ	*Euphorbia octoradiata* H.Lev. et Vaniot	CR
65	スミレ	キスミレ	*Viola orientalis* (Maxim.) W.Becker	
66	スミレ	シロスミレ	*Viola patrinii* DC.	
67	アマ	マツバニンジン	*Linum stelleroides* Planch.	CR
68	フウロソウ	グンナイフウロ	*Geranium onoei* Franch. et Sav.	
69	ムクロジ	ハナノキ	*Acer pycnanthum* K.Koch	VU
70	ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ	*Balanophora nipponica* Makino	VU
71	タデ	オオツルイタドリ	*Fallopia dentatoalata* (Fr.Schm.) Holub	
72	タデ	ヒメタデ	*Persicaria erectominor* (Makino) Nakai	VU
73	タデ	ノダイオウ	*Rumex longifolius* DC.	VU
74	モウセンゴケ	シロバナナガバノイシモチソウ	*Drosera makinoi* Masam.	VU
75	モウセンゴケ	ナガバノイシモチソウ	*Drosera toyoakensis* M.Watanabe et Seriz.	VU
76	ナデシコ	ツカモトハコベ	*Stellaria hibinoi* Seriz.	
77	ヒユ	イワアカザ	*Chenopodium gracillispicum* H.W.Kung	CR
78	ヒユ	ヒロハマツナ	*Suaeda malacosperma* H.Hara	VU
79	ツリフネソウ	エンシュウツリフネ	*Impatiens hypophylla* Makino var. *microhypophylla* (Nakai) H.Hara	EN
80	サクラソウ	ノジトラノオ	*Lysimachia barystachys* Bunge	VU
81	ツツジ	イワナシ	*Epigaea asiatica* Maxim.	
82	ツツジ	ベニバナイチヤクソウ	*Pyrola asarifolia* Michx. subsp. *incarinata* (DC.) A.E.Murray	
83	ツツジ	ナガボナツハゼ	*Vaccinium sieboldii* Miq.	CR
84	アカネ	ミヤマキヌタソウ	*Galium nakaii* Kudo ex H.Hara	
85	マチン	ヒメナエ	*Mitrasacme indica* Wight	VU
86	キョウチクトウ	クサタチバナ	*Vincetoxicum acuminatum* Decne.	NT
87	キョウチクトウ	タチガシワ	*Vincetoxicum magnificum* (Nakai) Kitag.	
88	シソ	キセワタ	*Leonurus macranthus* Maxim.	VU
89	シソ	ハマクサギ	*Premna microphylla* Turcz.	
90	シソ	イブキジャコウソウ	*Thymus quinquecostatus* Celak.	
91	ハマウツボ	ハマウツボ	*Orobanche coerulescens* Steph. ex Willd.	VU
92	キク	ヒメヨモギ	*Artemisia lancea* Vaniot	
93	キク	ヤマジノギク	*Aster hispidus* Thunb.	
94	キク	コバナガンクビソウ	*Carpesium taberi* C.Winkl.	VU
95	キク	イソギク	*Chrysanthemum pacificum* Nakai	
96	キク	シノジマアザミ	*Cirsium tashiroi* Kitam. subsp. *hidaense* (Kitam.) var.	
97	キク	サワアザミ	*Cirsium yezoense* (Maxim.) Makino	
98	キク	イトニガナ	*Ixeridium dentatum* (Thunb.) Tzvelev var. *linearifolium* Seriz.	
99	キク	コニガナ	*Ixeridium dentatum* (Thunb.) Tzvelev var. *minus* Seriz.	
100	キク	ミコシギク	*Leucanthemella linearis* (Matsum.) Tzvelev	VU
101	キク	ミカワトウヒレン	*Saussurea nipponica* Miq. var.	
102	キク	オナモミ	*Xanthium strumarium* L.	VU
103	セリ	キソガワシシウド	*Angelica* sp.	
104	セリ	エキサイゼリ	*Apodicarpum ikenoi* Makino	NT
105	セリ	フキヤミツバ	*Sanicula tuberculata* Maxim.	VU

絶滅危惧ⅠB類（EN）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ヒカゲノカズラ	ヤチスギラン	*Lycopodiella inundata* (L.) Holub	
2	イワヒバ	エゾノヒメクラマゴケ	*Selaginella helvetica* (L.) Spring	
3	ハナヤスリ	シチトウハナワラビ	*Sceptridium atrovirens* Sahashi	
4	コケシノブ	チチブホラゴケ	*Crepidomanes schmidtianum* (Zenker ex Taschner.) K.Iwats.	
5	イノモトソウ	タキミシダ	*Antrophyum obovatum* Baker	EN
6	イノモトソウ	ミカワイワガネ	*Coniogramme* sp.	
7	イノモトソウ	ナカミシシラン	*Haplopteris fudzinoi* (Makino) E.H.Crane	
8	イノモトソウ	マツザカシダ	*Pteris matsuzaka* Seriz.	
9	ナヨシダ	エビラシダ	*Gymnocarpium oyamense* (Baker) Ching	
10	チャセンシダ	カミガモシダ	*Asplenium oligophlebium* Baker	
11	チャセンシダ	ヒノキシダ	*Asplenium prolongatum* Hook.	
12	チャセンシダ	コタニワタリ	*Asplenium scolopendrium* L.	
13	チャセンシダ	テンリュウヌリトラノオ	*Asplenium shimurae* (H.Ito) Nakaike	VU
14	ヒメシダ	ヨコグラヒメワラビ	*Thelypteris hattorii* (H.Ito) Tagawa	
15	シシガシラ	オオカグマ	*Woodwardia japonica* (L.f.) J.Sm.	
16	メシダ	ニセコクモウクジャク	*Diplazium conterminum* H.Christ	
17	メシダ	ヒロハノコギリシダ	*Diplazium dilatatum* Blume	
18	メシダ	シマシロヤマシダ	*Diplazium doederleinii* (Luerss.) Makino	
19	オシダ	ハチジョウベニシダ	*Dryopteris caudipinna* Nakai	
20	オシダ	タカサゴシダ	*Dryopteris formosana* (Christ) C.Chr.	NT
21	オシダ	サクライカグマ	*Dryopteris gymnophylla* (Baker) C.Chr.	

22	オシダ	ワカナシダ	*Dryopteris kuratae* Nakaike ex Hoshiz. et K.A.Wilson	
23	オシダ	ホソイノデ	*Polystichum braunii* (Spenn.) Fèe	
24	ウラボシ	ヌカボシクリハラン	*Lepidomicrosorium superficiale* (Blume) Li Wang	
25	ウラボシ	ミカワノキシノブ	*Lepisorus mikawanus* Sa.Kurata	
26	ウラボシ	クラガリシダ	*Lepisorus miyoshianus* (Makino) Fraser-Jenk.	EN
27	ウラボシ	イワオモダカ	*Pyrrosia hastata* (Houtt.) Ching	
28	ヒノキ	ビャクシン	*Juniperus chinensis* L.	
29	イチイ	イチイ	*Taxus cuspidata* Siebold et Zucc.	
30	スイレン	コウホネ	*Nuphar japonicum* DC.	
31	ウマノスズクサ	イワタカンアオイ	*Heterotropa kurosawae* (Sugim.) F.Maek.	VU
32	サトイモ	ヤマトテンナンショウ	*Arisaema longilaminum* Nakai	
33	サトイモ	ユモトマムシグサ	*Arisaema nikoense* Nakai	
34	サトイモ	ヒロハテンナンショウ	*Arisaema ovale* Nakai var.	
35	サトイモ	ミクニテンナンショウ	*Arisaema planilaminum* J.Murata	
36	サトイモ	ミヤママムシグサ	*Arisaema pseudoangustatum* Seriz.	
37	チシマゼキショウ	ヤシュウハナゼキショウ	*Tofieldia nuda* Maxim. var. *furusei* Hiyama	
38	オモダカ	マルバオモダカ	*Caldesia parnassifolia* (Bassi ex L.) Parl.	VU
39	トチカガミ	トチカガミ	*Hydrocharis dubia* (Blume) Backer	NT
40	トチカガミ	ムサシモ	*Najas ancistocarpa* A.Br. ex Magnus	EN
41	ヒルムシロ	ササバモ	*Potamogeton wrightii* Morong	
42	シュロソウ	チャボシライトソウ	*Chionographis koidzumiana* Ohwi	VU
43	シュロソウ	エンレイソウ	*Trillium apetalon* Makino	
44	シュロソウ	ミカワバイケイソウ	*Veratrum stamineum* Maxim. var. *micranthum* Satake	VU
45	ユリ	ヒロハノアマナ	*Amana erythronioides* (Baker) D.Y.Tan et D.Y.Hong	VU
46	ユリ	ミノコバイモ	*Fritillaria japonica* Miq.	VU
47	ユリ	キバナノアマナ	*Gagea lutea* (L.) Ker Gawl.	
48	ユリ	ホソバノアマナ	*Lloydia triflora* (Ledeb.) Baker	
49	ラン	ムカデラン	*Cleisostoma scolopendrifolium* (Makino) Garay	VU
50	ラン	コアツモリソウ	*Cypripedium debile* Rchb.f.	NT
51	ラン	マツラン	*Gastrochilus matsuran* (Makino) Schltr.	VU
52	ラン	オオミヤマウズラ	*Goodyera tsukamotoi* Seriz.	
53	ラン	ギボウシラン	*Liparis auriculata* Blume	EN
54	ラン	セイタカスズムシソウ	*Liparis japonica* (Miq.) Maxim.	
55	ラン	フウラン	*Neofinetia falcata* (Thunb.) Hu	VU
56	ラン	ノビネチドリ	*Neolindleya camtschatica* (Cham.) Nevski	
57	ラン	イイヌマムカゴ	*Platanthera iinumae* (Makino) Makino	EN
58	ラン	トキソウ	*Pogonia japonica* Rchb.f.	NT
59	ラン	ウチョウラン	*Ponerorchis graminifolia* Rchb.f.	VU
60	キンバイザサ	コキンバイザサ	*Hypoxis aurea* Lour.	
61	アヤメ	ヒオウギ	*Iris domestica* (L.) Goldblatt et Mabb.	
62	アヤメ	アヤメ	*Iris sanguinea* Hornem.	
63	ススキノキ	ゼンテイカ	*Hemerocallis dumortierii* Morr. var. *esculenta* (Koidz.) Kitam. ex M.Matsuoka et M.Hotta	
64	ヒガンバナ	ステゴビル	*Allium inutile* Makino	VU
65	キジカクシ	ヒメマイヅルソウ	*Maianthemum bifolium* (L.) F.W.Schmidt	
66	キジカクシ	ワニグチソウ	*Polygonatum involucratum* (Franch. et Sav.) Maxim.	
67	ガマ	ミクリ	*Sparganium erectum* L.	NT
68	ホシクサ	ミカワイヌノヒゲ	*Eriocaulon mikawanum* Satake et T.Koyama	VU
69	ホシクサ	クロホシクサ	*Eriocaulon parvum* Koern.	VU
70	カヤツリグサ	オオタマツリスゲ	*Carex filipes* Franch. et Sav. var. *rouyana* (Franch.) Kük.	
71	カヤツリグサ	サツマスゲ	*Carex ligulata Nees* ex Wight	
72	カヤツリグサ	アオミヤマカンスゲ	*Carex multifolia* Ohwi var. *pallidisquama* Ohwi	
73	カヤツリグサ	タカネマスクサ	*Carex planata* Franch. et Sav.	
74	カヤツリグサ	ヤブスゲ	*Carex rochebrunii* Franch. et Sav.	
75	カヤツリグサ	ツルカミカワスゲ	*Carex sabynensis* Less. var. *rostrata* (Maxim.) Ohwi	
76	カヤツリグサ	ヌマハリイ	*Eleocharis mamillata* Lindb.f. var. *cyclocarpa* Kitag.	
77	カヤツリグサ	トラノハナヒゲ	*Rhynchospora brownii* Roem. et Schult.	
78	カヤツリグサ	シズイ	*Schoenoplectus nipponicus* (Makino) Sojak	
79	カヤツリグサ	ノグサ	*Schoenus apogon* Roem. et Schult.	
80	イネ	ヒメタイヌビエ	*Echinochloa crus-galli* (L.) Beauv. var. *formosensis* Ohwi	
81	イネ	ウキガヤ	*Glyceria depauperata* Ohwi var. *infirma* (Ohwi) Ohwi	
82	イネ	タキキビ	*Phaenosperma globosum* Munro ex Benth.	
83	イネ	ムカゴツヅリ	*Poa tuberifera* Faurie ex Hack.	
84	イネ	ハネガヤ	*Stipa pekinensis* Hance	
85	マツモ	ゴハリノマツモ	*Ceratophyllum platyacanthum* Cham. subsp. *oryzetorum* (Kom.) Les	
86	ケシ	ヤマキケマン	*Corydalis ophiocarpa* Hook. et Thomson	
87	ケシ	ナガミノツルケマン	*Corydalis raddeana* Regel	NT
88	ケシ	ヤマブキソウ	*Hylomecon japonica* (Thunb.) Plantl et Kundig	
89	キンポウゲ	ヤマトリカブト	*Aconitum japonicum* Thunb.	
90	キンポウゲ	ルイヨウショウマ	*Actaea asiatica* H.Hara	
91	キンポウゲ	レンゲショウマ	*Anemonopsis macrophylla* Sieb. et Zucc.	
92	キンポウゲ	キケンショウマ	*Cimicifuga japonica* (Thunb.) Spreng. var. *peltata* (Makino) H.Hara	

93	キンポウゲ	カザグルマ	*Clematis patens* C.Morren et Decne.	NT
94	キンポウゲ	ミノシロカネソウ	*Dichocarpum* sp.	
95	アワブキ	ヤマビワ	*Meliosma rigida* Siebold et Zucc.	
96	ボタン	ベニバナヤマシャクヤク	*Paeonia obovata* Maxim.	VU
97	スグリ	ヤシャビシャク	*Ribes ambiguum* Maxim.	NT
98	ベンケイソウ	アオベンケイ	*Hylotelephium viride* (Makino) H.Ohba	
99	マメ	ハマナタマメ	*Canavalia lineata* (Thunb.) DC.	
100	マメ	ミヤマトベラ	*Euchresta japonica* Hook.f. ex Maxim.	
101	マメ	クロバナキハギ	*Lespedeza bicolor* Turcz. var. *higoensis* (T.Shimizu) Murata	VU
102	マメ	ノハラクサフジ	*Vicia amurensis* Oett.	
103	マメ	ビワコエビラフジ	*Vicia venosa* (Willd.) Maxim. subsp. *stolonifera* (Y.Endo et H.Ohashi) Y.Endo et H.Ohashi	
104	バラ	シモツケソウ	*Filipendula multijuga* Maxim.	
105	バラ	オオダイコンソウ	*Geum aleppicum* Jacq.	
106	バラ	エチゴツルキジムシロ	*Potentilla toyamensis* Naruh. et T.Sato	
107	バラ	ミヤマチョウジザクラ	*Prunus apetala* (Siebold et Zucc.) Franch. et Sav.	
108	バラ	キンキマメザクラ	*Prunus incisa* Thunb. var. *kinkiensis* (Koidz.) Ohwi	
109	バラ	ミヤマワレモコウ	*Sanguisorba longifolia* Bertol.	
110	バラ	アイズシモツケ	*Spiraea chamaedryfolia* L. var. *pilosa* (Nakai) H.Hara	
111	クロウメモドキ	ヨコグラノキ	*Berchemiella berchemiaefolia* (Makino) Nakai.	
112	クロウメモドキ	ケンポナシ	*Hovenia dulcis* Thunb.	
113	アサ	コバノチョウセンエノキ	*Celtis biondii* Pamp.	
114	クワ	カジノキ	*Broussonetia papyrifera* (L.) L.Her. ex Vent.	
115	イラクサ	ミヤマミズ	*Pilea angulata* (Blume) Blume subsp. *petiolaris* (Siebold et Zucc.) C.J.Chen	
116	ブナ	ナラガシワ	*Quercus aliena* Blume	
117	カバノキ	ナガバノダケカンバ	*Betula ermanii* Cham. var. *japonica* (Shirai) Koidz.	
118	ニシキギ	シラヒゲソウ	*Parnassia foliosa* Hook.f. et Thoms.	
119	スミレ	オオタチツボスミレ	*Viola kusanoana* Makino	
120	スミレ	スミレサイシン	*Viola vaginata* Maxim.	
121	オトギリソウ	アゼオトギリ	*Hypericum oliganthum* Franch. et Sav.	EN
122	フウロソウ	ミツバフウロ	*Geranium wilfordii* Maxim.	
123	フウロソウ	ビッチュウフウロ	*Geranium yoshinoi* Makino ex Nakai	
124	ミソハギ	ヒメビシ	*Trapa incisa* Sieb. et Zucc.	VU
125	ミカン	タチバナ	*Citrus tachibana* (Makino) Tanaka	NT
126	アブラナ	コンロンソウ	*Cardamine leucantha* (Tausch.) O.E.Schulz	
127	タデ	ナガバノヤノネグサ	*Persicaria breviochreata* (Makino) Ohki	
128	タデ	マダイオウ	*Rumex madaio* Makino	
129	モウセンゴケ	イシモチソウ	*Drosera peltata* Smith var. *nipponica* (Masamune) Ohwi	NT
130	ナデシコ	ヒゲネワチガイソウ	*Pseudostellaria palibiniana* (Takeda) Ohwi	
131	アジサイ	コガクウツギ	*Hydrangea luteovenosa* Koidz.	
132	サクラソウ	トウサワトラノオ	*Lysimachia candida* Lindl.	EN
133	ハイノキ	シロバイ	*Symplocos lancifolia* Siebold et Zucc.	
134	イワウメ	イワカガミ	*Schizocodon soldanelloides* Siebold et Zucc.	
135	ツツジ	ジングウツツジ	*Rhododendron sanctum* Nakai	VU
136	アカネ	ナガバジュズネノキ	*Damnacanthus macrophyllus* Siebold ex Miq. form. *giganteus* (Makino) T.Yamaz.	
137	アカネ	オオキヌタソウ	*Rubia chinensis* Regel et Maack form. *mitis* (Miq.) Kitag.	
138	リンドウ	ホソバツルリンドウ	*Pterygocalyx volubilis* Maxim.	VU
139	キョウチクトウ	フナバラソウ	*Vincetoxicum atratum* (Bunge) C.Morren et Decne.	VU
140	ムラサキ	スナビキソウ	*Heliotropium japonicum* A.Gray	
141	ムラサキ	ホタルカズラ	*Lithospermum zollingeri* A.DC.	
142	ヒルガオ	ハマネナシカズラ	*Cuscuta chinensis* Lam.	VU
143	モクセイ	ヒトツバタゴ	*Chionanthus retusus* Lindl. et Paxton	VU
144	モクセイ	トネリコ	*Fraxinus japonica* Blume ex K.Koch	
145	オオバコ	トウオオバコ	*Plantago japonica* Franch. et Sav.	
146	オオバコ	ヤマクワガタ	*Veronica japonensis* Makino	
147	オオバコ	ヒヨクソウ	*Veronica laxa* Benth.	
148	アゼナ	ヒロハスズメノトウガラシ	*Lindera antipoda* (L.) Alston var. *vervenaefolia* (Colsm.) Ohba	
149	シソ	ケブカツルカコソウ	*Ajuga shikotanensis* Miyabe et Tatew. form. *hirsuta* (Honda) Murata	VU
150	シソ	タニジャコウソウ	*Chelonopsis longipes* Makino	NT
151	シソ	アシタカジャコウソウ	*Chelonopsis yagiharana* Hisauti et Matsuno	
152	シソ	ダンドタムラソウ	*Salvia lutescens* Koidz. var. *stolonifera* G.Nakai	
153	シソ	コナミキ	*Scutellaria guilielmii* A.Gray	VU
154	ハマウツボ	セリバシオガマ	*Pedicularis keiskei* Franch. et Sav.	
155	ハマウツボ	シオガマギク	*Pedicularis resupinata* L. subsp. *oppositifolia* (Miq.) T.Yamaz.	
156	ハマウツボ	ミカワシオガマ	*Pedicularis resupinata* L. subsp. *oppositifolia* (Miq.) T.Yamaz. var. *microphylla* Honda	VU
157	タヌキモ	ミカワタヌキモ	*Utricularia exoleta* R.Br.	VU
158	タヌキモ	ヒメタヌキモ	*Utricularia minor* L.	NT
159	タヌキモ	ヒメミミカキグサ	*Utricularia minutissima* Vahl	EN
160	ミツガシワ	ヒメシロアサザ	*Nymphoides coreana* (H.Lev.) H.Hara	VU

161	ミツガシワ	アサザ	*Nymphoides peltata* (S.G.Gmel.) Kuntze	NT
162	キク	フクド	*Artemisia fukudo* Makino	NT
163	キク	オオガンクビソウ	*Carpesium macrocephalum* Franch. et Sav.	
164	キク	シロバナタカアザミ	*Cirsium pendulum* Fisch. var. *albiflorum* Makino	
165	キク	フジバカマ	*Eupatorium japonicum* Thunb.	NT
166	キク	カセンソウ	*Eupatorium japonicum* Thunb.	
167	キク	オクヤマコウモリ	*Parasenecio maximowiczianus* (Nakai et F.Maek. ex H.Hara) H.Koyama var. *alatus* (F.Maek.) H.Koyama	
168	キク	ハマコウゾリナ	*Picris hieracioides* L. subsp. *japonica* (Thunb.) Krylov var. *littoralis* Kitam.	
169	キク	アキノハハコグサ	*Pseudognaphalium hypoleucum* (DC.) Hilliard et B.L.Burtt	EN
170	キク	キクアザミ	*Saussurea ussuriensis* Maxim.	
171	ガマズミ	ミヤマシグレ	*Viburnum urceolatum* Sieb. et Zucc. form. *procumbens* (Nakai) H.Hara	
172	スイカズラ	コウグイスカグラ	*Lonicera ramosissima* Franch. et Sav. ex Maxim.	
173	スイカズラ	イワツクバネウツギ	*Zabelia integrifolia* (Koidz.) Makino ex Ikuse et H.Kuros.	VU
174	セリ	ミシマサイコ	*Bupleurum stenophyllum* (Nakai) Kitag.	VU
175	セリ	ボタンボウフウ	*Peucedanum japonicum* Thunb.	

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ヒカゲノカズラ	スギラン	*Huperzia cryptomerina* (Maxim.) Dixit	VU
2	ヒカゲノカズラ	アスヒカズラ	*Lycopodium complanatum* L.	
3	イワヒバ	ヒメクラマゴケ	*Selaginella heterostachys* Baker	
4	ハナヤスリ	ヒロハハナヤスリ	*Ophioglossum vulgatum* L.	
5	マツバラン	マツバラン	*Psilotum nudum* (L.) Beauv.	NT
6	トクサ	イヌスギナ	*Equisetum palustre* L.	
7	コケシノブ	コケホラゴケ	*Crepidomanes makinoi* (C.Chr.) Copel.	NT
8	コケシノブ	ミカワコケシノブ	*Hymenophyllum mikawanum* (Seriz.) Seriz.	EN
9	キジノオシダ	タカサゴキジノオ	*Plagiogyria adnata* (Blume) Bedd.	
10	キジノオシダ	ヤマソテツ	*Plagiogyria matsumureana* Makino	
11	コバノイシカグマ	フモトカグマ	*Microlepia pseudostrigosa* Makino	
12	チャセンシダ	オクタマシダ	*Asplenium pseudowilfordii* Tagawa	VU
13	チャセンシダ	ホウビシダ	*Hymenasplenium hondoense* (N.Murak. et S.-I.Hatan.) Nakaike	
14	ヒメシダ	ツクシヤワラシダ	*Thelypteris hattorii* (H.Ito) Tagawa var. *nemoralis* (Ching) Sa.Kurata	
15	イワデンダ	コガネシダ	*Woodsia macrochlaena* Mett. ex Kuhn	
16	メシダ	ウスバシケシダ	*Deparia longipes* (Ghing) Shinohara	VU
17	メシダ	アサマシケシダ	*Deparia magufukui* (Nakai)	
18	メシダ	コヒロハシケシダ	*Deparia pseudo-conilii* (Seriz.) Seriz. var. *subdeltoidofrons* (Seriz.) Seriz.	
19	メシダ	ウスバミヤマノコギリシダ	*Diplazium deciduum* N.Ohta et M.Takamiya	
20	メシダ	テリハシロヤマシダ	*Diplazium hachijoense* Nakai	
21	メシダ	コクモウクジャク	*Diplazium virescens* Kunze	
22	オシダ	ヒロハヤブソテツ	*Cyrtomium macrophyllum* (Makino) Tagawa	
23	オシダ	オワセベニシダ	*Dryopteris ryo-itoana* Sa.Kurata	
24	ウラボシ	イシガキウラボシ	*Lepisorus yamaokae* Seriz.	
25	マツ	ハリモミ	*Picea torano* (Siebold ex K.Koch) Koehne	
26	ヒノキ	ハイネズ	*Juniperus conferta* Parl.	
27	ヒノキ	クロベ	*Thuja standishii* (Gord0n) Carriere	
28	ウマノスズクサ	オオバウマノスズクサ	*Aristolochia kaempferii* Willd.	
29	モクレン	シデコブシ	*Magnolia stellata* (Siebold et Zucc.) Maxim.	NT
30	クスノキ	バリバリノキ	*Actinodaphne acuminata* (Blume) Meisn.	
31	サトイモ	ホソバテンナンショウ	*Arisaema angustatum* Franch. et Sav.	
32	サトイモ	ムロウマムシグサ	*Arisaema kishidae* Makino ex Nakai	
33	サトイモ	オオマムシグサ	*Arisaema takedae* Makino	
34	チシマゼキショウ	イワショウブ	*Triantha japonica* (Miq.) Baker	
35	トチカガミ	マルミスブタ	*Blyxa aubertii* L.C.Rich.	VU
36	トチカガミ	サガミトリゲモ	*Najas chinensis* N.Z.Wang	VU
37	トチカガミ	コウガイモ	*Vallisneria denseserrulata* (Makino) Makino	
38	ヒルムシロ	オヒルムシロ	*Potamogeton natans* L.	
39	ヤマノイモ	ウチワドコロ	*Dioscorea nipponica* Makino	
40	ヤマノイモ	キクバドコロ	*Dioscorea septemloba* Thunb.	
41	ユリ	タマガワホトトギス	*Tricyrtis latifolia* Maxim.	
42	ラン	ナツエビネ	*Calanthe puberula* Lindl.	VU
43	ラン	ユウシュンラン	*Cephalanthera erecta* (Thunb.) Blume var. *subaphylla* (Miyabe et Kudo) Ohwi	VU
44	ラン	クマガイソウ	*Cypripedium japonicum* Thunb.	VU
45	ラン	コイチヨウラン	*Ephippianthus schmidtii* Rchb.f.	
46	ラン	アキザキヤツシロラン	*Gastrodia verrucosa* Blume	
47	ラン	ベニシュスラン	*Goodyera biflora* (Lindl.) Hook.f.	
48	ラン	シュスラン	*Goodyera velutina* Maxim.	
49	ラン	ミズトンボ	*Habenaria sagittifera* Rchb.f.	VU

50	ラン	ホクリクムヨウラン	*Lecanorchis hokurikuensis* Masamune	
51	ラン	ウスギムヨウラン	*Lecanorchis kiusiana* Tuyama	NT
52	ラン	クロムヨウラン	*Lecanorchis nigricans* Honda	
53	ラン	ニラバラン	*Microtis unifolia* (G.Forst.) Rchb.f.	
54	ラン	コフタバラン	*Neottia cordata* (L.) Rich.	
55	ラン	サギソウ	*Pecteilis radiata* (Thunb.) Raf.	NT
56	ラン	ミズチドリ	*Platanthera hologlottis* Maxim.	
57	ラン	ヤマサギソウ	*Platanthera mandarinorum* Rchb.f. var. *oreades* (Franch. et Sav.) Koidz.	
58	ラン	オオヤマサギソウ	*Platanthera sachalinensis* F.Schmidt	
59	ラン	ヤマトキソウ	*Pogonia minor* (Makino) Makino	
60	アヤメ	カキツバタ	*Iris laevigata* Fisch.	NT
61	ヒガンバナ	キイイトラッキョウ	*Allium kiiense* (Murata) Hir.Takah. et M.Hotta	VU
62	キジカクシ	アキギボウシ	*Hosta longipes* (Franch. et Sav.) Matsum. var. *lancea* Honda	
63	ガマ	ヤマトミクリ	*Sparganium fallax* Graebn.	NT
64	ホシクサ	シラタマホシクサ	*Eriocaulon nudicuspe* Maxim.	VU
65	カヤツリグサ	アイズスゲ	*Carex hondoensis* Ohwi	
66	カヤツリグサ	アオヒエスゲ	*Carex insaniae* Koidz. var. *subdita* (Ohwi) Ohwi	
67	カヤツリグサ	センダイスゲ	*Carex lenta* D.Don var. *sendaica* (Franch.) T.Koyama	
68	カヤツリグサ	ミタケスゲ	*Carex michauxiana* Bocklr. subsp. *asiatica* Hulten	
69	カヤツリグサ	ミノボロスゲ	*Carex nubigena* D.Don ex Tilloch et Taylor subsp. *albata* (Boott ex Franch. et Sav.) T.Koyama	
70	カヤツリグサ	ニシノホンモンジスゲ	*Carex stenostachys* Franch. et Sav.	
71	カヤツリグサ	オオカワズスゲ	*Carex stipata* Muhlenb.	
72	カヤツリグサ	ヒメモエギスゲ	*Carex tristachya* Thunb. var. *pocilliformis* (Boott) Kuk.	
73	カヤツリグサ	ヒゲスゲ	*Carex wahuensis* C.A.Mey. var. *bongardii* (Boott) Franch. et Sav.	
74	カヤツリグサ	オオシロガヤツリ	*Cyperus nipponicus* Franch. et Sav. var. *spiralis* Ohwi	
75	カヤツリグサ	ヒメガヤツリ	*Cyperus tenuispica* Steud.	
76	カヤツリグサ	セイタカハリイ	*Eleocharis attenuata* (Franch. et Sav.) Palla	
77	カヤツリグサ	マシカクイ	*Eleocharis tetraquetra* Nees	
78	カヤツリグサ	クグテンツキ	*Fimbristylis dichotoma* (L.) Vahl var. *diphylla* (Retz.) T.Koyama	
79	カヤツリグサ	ビロードテンツキ	*Fimbristylis sericea* (Poir.) R.Br.	
80	カヤツリグサ	トネテンツキ	*Fimbristylis stauntonii* Debeaux et Franch. var. *tonensis* (Makino) Ohwi ex T.Koyama	VU
81	カヤツリグサ	オオイヌノハナヒゲ	*Rhynchospora fauriei* Franch.	
82	カヤツリグサ	ミカワシンジュガヤ	*Scleria mikawana* Makino	VU
83	カヤツリグサ	コシンジュガヤ	*Scleria parvula* Steud.	
84	イネ	ヒナザサ	*Coelachne japonica* Hack.	NT
85	イネ	アラゲメヒシバ	*Digitaria violascens* Link var. *lasiophylla* (Honda) Tuyama	
86	イネ	イトスズメガヤ	*Eragrostis brownii* (Kunth) Nees	
87	イネ	コゴメカゼクサ	*Eragrostis japonica* (Thunb.) Trin.	
88	イネ	ウンヌケモドキ	*Eulalia quadrinervis* (Hack.) O.Kuntze	NT
89	イネ	ヤマトボシガラ	*Festuca japonica* Makino	
90	イネ	カモノハシ	*Ischaemum aristatum* L. var. *crassipes* (Steud.) Yonek.	
91	イネ	イブキヌカボ	*Milium effusum* L.	
92	イネ	ヨコハマダケ	*Pleioblastus matsunoi* Nakai ex Makino et Nemoto	
93	イネ	シダミコザサ	*Sasa samaniana* Nakai var. *yoshinoi* Sad.Suzuki form. *hidejiroana* (Koidz.) Sad.Suzuki	
94	イネ	ナリヒラダケ	*Semiarundinaria fastuosa* (Mitford) Makino ex Nakai	
95	イネ	ヒゲシバ	*Sporobolus japonicus* (Steud.) Maxim. ex Rendle	
96	イネ	ヒロハノハネガヤ	*Stipa coreana* Honda var. *japonica* (Hack.) Y.N.Lee	
97	メギ	ルイヨウボタン	*Caulophyllum robustum* Maxim.	
98	メギ	イカリソウ	*Epimedium grandiflorum* Morr. var. *thunbergianum* (Miq.) Nakai	
99	キンポウゲ	ヒメイチゲ	*Anemone debilis* Fisch. ex Turcz.	
100	キンポウゲ	フジセンニンソウ	*Clematis chinensis* Osbeck var. *fujisanensis* (Hisauti et H.Hara) W.T.Wang	
101	キンポウゲ	クサボタン	*Clematis stans* Sieb. et Zucc.	
102	キンポウゲ	セツブンソウ	*Eranthis pinnatifida* Maxim.	NT
103	ヤマモガシ	ヤマモガシ	*Helicia cochinchinensis* Lour.	
104	ツゲ	ツゲ	*Buxus microphylla* Sieb. et Zucc.	
105	ボタン	ヤマシャクヤク	*Paeonia japonica* (Makino) Miyabe et Takeda	NT
106	マンサク	ダンドミズキ	*Corylopsis gotoana* Makino var.	NT
107	スグリ	ヤブサンザシ	*Ribes fasciculatum* Sieb. et Zucc.	
108	ユキノシタ	ミカワショウマ	*Astilbe odontophylla* Miq. var. *okuyamae* (H.Hara) H.Hara	NT
109	ユキノシタ	ツルネコノメソウ	*Chrysosplenium flagelliferum* F.Schmidt	
110	ユキノシタ	チシマネコノメソウ	*Chrysosplenium kamtschaticum* Fisch. ex Ser.	
111	マメ	ミソナオシ	*Desmodium caudatum* (Thunb.) DC.	
112	マメ	オオバヌスビトハギ	*Desmodium laxum* DC.	
113	マメ	サイカチ	*Gledistia japonica* Miq.	
114	マメ	イタチササゲ	*Lathyrus davidii* Hance	
115	マメ	レンリソウ	*Lathyrus quinquenervius* (Miq.) Litv.	
116	マメ	イヌハギ	*Lespedeza tomentosa* (Thunb.) Siebold.ex Maxim.	VU

117	マメ	ヨツバハギ	*Vicia nipponica* Matsum.	
118	バラ	ヤマブキショウマ	*Aruncus dioicus* (Walter) Fernard var. *kamtschaticus* (Maxim.) H.Hara	
119	バラ	イワキンバイ	*Potentilla ancistrifolia* Bunge var. *dickinsii* (Franch. et Sav.) Koidz.	
120	バラ	カワラサイコ	*Potentilla chinensis* Ser.	
121	バラ	テリハキンバイ	*Potentilla riparia* Murata	
122	バラ	ハチジョウイチゴ	*Rubus ribisoideus* Matsum.	
123	グミ	アリマグミ	*Elaeagnus murakamiana* Makino	
124	イラクサ	ミヤマイラクサ	*Laportea cuspidate* (Wedd.) Vriis	
125	イラクサ	コケミズ	*Pilea peploides* (Gaud.) Hook. et Arn.	
126	ブナ	シリブカガシ	*Lithocarpus glaber* (Thunb.) Nakai	
127	カバノキ	ウダイカンバ	*Betula maximowicziana* Regel	
128	カバノキ	オノオレカンバ	*Betula schmidtii* Regel	
129	カタバミ	オオヤマカタバミ	*Oxalis obtriangulata* Maxim.	VU
130	ホルトノキ	ホルトノキ	*Elaeocarpus zollingeri* K.Koch	
131	トウダイグサ	イワタイゲキ	*Euphorbia jolkinii* Boiss.	
132	トウダイグサ	シナノタイゲキ	*Euphorbia sinanensis* (Hurus.) T.Kuros. et H.Ohashi	
133	ミカンソウ	カンコノキ	*Glochidion obovatum* Siebold et Zucc.	
134	スミレ	コタチツボスミレ	*Viola grypoceras* A.Gray var. *exilis* (Miq.) Nakai	
135	ミソハギ	エゾミソハギ	*Lithrum salicaria* L.	
136	ミソハギ	ミズキカシグサ	*Rotala rosea* (Poir.) C.D.K.Cook	VU
137	ムクロジ	ホソエカエデ	*Acer capillipes* Maxim.	
138	ムクロジ	カラコギカエデ	*Acer ginnala* Maxim. var. *aidzuense* (Franch.) K.Ogata	
139	ムクロジ	ハウチワカエデ	*Acer japonicum* Thunb.	
140	アオイ	ハマボウ	*Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc.	
141	ジンチョウゲ	キガンピ	*Diplomorpha trichotoma* (Thunb.) Nakai	
142	アブラナ	ハクサンハタザオ	*Arabidopsis halleri* (L.) O Kane et Al-Shehbaz subsp. *gemmifera* (Matsum.) O Kane et Al-Shehbaz	
143	アブラナ	マルバタネツケバナ	*Cardamine regeliana* Miq. var.	
144	タデ	ヌカボタデ	*Persicaria taquetii* (Lev.) Koidz.	VU
145	タデ	ホソバイヌタデ	*Persicaria trigonocarpa* (Makino) Nakai	NT
146	ナデシコ	オオヤマフスマ	*Moehringia lateriflora* (L.) Fenzl	
147	ナデシコ	ワダソウ	*Pseudostellaria heterophylla* (Miq.) Pax	
148	ヒユ	ハマアカザ	*Atriplex subcordata* Kitagawa	
149	アジサイ	ビロードノリウツギ	*Hydrangea paniculata* Siebold var. *velutina* Nakai	
150	ハイノキ	カンザブロウノキ	*Symplocos theophrastaefolia* Siebold et Zucc.	
151	イワウメ	オオイワカガミ	*Schizocodon soldanelloides* Siebold et Zucc. var. *magnus* (Makino) H.Hara	
152	ツツジ	ヒロハドウダンツツジ	*Enkianthus perulatus* (Miq.) C.K.Schneid. form. *japonicus* (Hook.f.) Kitam.	
153	ツツジ	ハナヒリノキ	*Eubotryoides grayana* (Maxim.) H.Hara	
154	ツツジ	ホンシャクナゲ	*Rhododendron japonoheptamerum* Kitam. var. *hondoense* (Nakai) Kitam.	
155	ツツジ	ホソバシャクナゲ	*Rhododendron makinoi* Tagg. ex Nakai	VU
156	リンドウ	コケリンドウ	*Gentiana squarrosa* Ledeb.	
157	リンドウ	ムラサキセンブリ	*Swertia pseudochinensis* H.Hara	NT
158	キョウチクトウ	シタキソウ	*Jasminanthes mucronata* (Blanco) W.D.Stevens et P.T.Li	
159	ナス	アオホオズキ	*Physaliastrum japonicum* (Franch. et Sav.) Honda	VU
160	ナス	ヤマホオズキ	*Physalis chamaesarachoides* Makino	EN
161	モクセイ	ミヤマアオダモ	*Fraxinus apertisquamifera* H.Hara	
162	オオバコ	オオアブノメ	*Gratiola japonica* Miq.	VU
163	オオバコ	ヤマトラノオ	*Veronica rotunda* Nakai var. *subintegra* (Nakai) T.Yamaz.	
164	シソ	ジュウニヒトエ	*Ajuga nipponensis* Makino	
165	シソ	ジャコウソウ	*Chelonopsis moschata* Miq.	
166	シソ	ヤマジソ	*Mosla japonica* (Benth. ex Oliv.) Maxim.	NT
167	シソ	ミズネコノオ	*Pogostemon stellatus* (Lour.) Kuntze	NT
168	シソ	ミズトラノオ	*Pogostemon yatabeanus* (Makino) Press	VU
169	ハマウツボ	ゴマクサ	*Centranthera cochinchinensis* (Lour.) Merr. subsp. *lutea* (H.Hara) T.Yamaz.	VU
170	ハマウツボ	キヨスミウツボ	*Phacellanthus tubiflorus* Siebold et Zucc.	
171	タヌキモ	ノタヌキモ	*Utricularia aurea* Lour.	VU
172	モチノキ	ナナミノキ	*Ilex chinensis* Sims.	
173	モチノキ	ミヤマウメモドキ	*Ilex nipponica* Makino	
174	キキョウ	イワシャジン	*Adenophora takedae* Makino	
175	キキョウ	キキョウ	*Platycodon grandiflorum* (Jacq.) A.DC.	VU
176	キク	ヒメシオン	*Aster fastigiatus* Fisch.	
177	キク	ヤナギノギク	*Aster hispidus* Thunb. var. *leptocladus* (Makino) Okuyama	VU
178	キク	イズハハコ	*Conyza japonica* (Thunb.) Less.	VU
179	キク	モミジタマブキ	*Parasenecio farfarifolius* (Siebold et Zucc.) H.Koyama var. *acerinus* (Makino) H.Koyama	
180	キク	ホクチアザミ	*Saussurea gracilis* Maxim.	
181	キク	ミヤコアザミ	*Saussurea maximowiczii* Herder	

182	キク	ツクシメナモミ	*Siegesbeckia orientalis* L.
183	キク	アオヤギバナ	*Solidago yokusaiana* Makino
184	ガマズミ	ハクサンボク	*Viburnum japonicum* (Thunb.) Spreng.
185	スイカズラ	ナベナ	*Dipsacus japonicus* Miq.
186	スイカズラ	キダチニンドウ	*Lonicera hypoglauca* Miq.
187	セリ	ノダケモドキ	*Angelica hakonensis* Maxim. var. *nikoensis* (Yabe) H.Hara
188	セリ	ハナウド	*Heracleum sphondylium* L. var. *nipponicum* (Kitag.) H.Ohba
189	セリ	イブキボウフウ	*Libanotis cugoensis* (Koidz.) Kitag. var. *japonica* (H.Boissieu) T.Yamaz.

準絶滅危惧（NT）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ミズニラ	ミズニラ	*Isoetes japonica* A.Braum	NT
2	ハナヤスリ	ナガホノナツノハナワラビ	*Osmundopteris stricta* (Underw.) M.Nishida	
3	ホングウシダ	ハマホラシノブ	*Odontosoria biflora* (Kaulf.) C.Chr.	
4	コバノイシカグマ	イシカグマ	*Microlepia strigosa* (Thunb.) C.Presl	
5	ヒメシダ	ミヤマワラビ	*Thelypteris phegopteris* (L.) Sloss. ex Rydb.	
6	メシダ	ミヤマシケシダ	*Deparia pycnosora* (H.Christ) M.Kato	
7	オシダ	ツクシイワヘゴ	*Dryopteris commixta* Tagawa	
8	オシダ	ヌカイタチシダ	*Dryopteris gymnosora* (Makino) C.Chr.	
9	オシダ	ナンカイイタチシダ	*Dryopteris varia* (L.) O.Kuntze	
10	ウラボシ	ホテイシダ	*Lepisorus annuifrons* (Makino) Ching	
11	ウラボシ	オオクボシダ	*Micropolypodium okuboi* (Yatabe) Hayata	
12	マツ	ウラジロモミ	*Abies homolepis* Sieb. et Zucc.	
13	コウヤマキ	コウヤマキ	*Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Sieb. et Zucc.	
14	ヒノキ	ネズミサシ	*Juniperus rigida* Sieb. et Zucc.	
15	トチカガミ	ヤナギスブタ	*Blyxa japonica* (Miq.) Maxim. ex Asch. et Gurke	
16	トチカガミ	イトトリゲモ	*Najas gracillima* (A.Braun ex Engelm.) Magnus	NT
17	トチカガミ	オオトリゲモ	*Najas oguraensis* Miki	
18	シバナ	シバナ	*Triglochin asiatica* (Kitag.) A. et D.Lowe	NT
19	アマモ	エビアマモ	*Phyllospadix japonica* Makino	NT
20	ヒルムシロ	ヒルムシロ	*Potamogeton distinctus* A.Benn.	
21	ヒルムシロ	イトモ	*Potamogeton pusillus* L.	NT
22	カワツルモ	カワツルモ	*Ruppia maritima* L.	NT
23	ヒナノシャクジョウ	ヒナノシャクジョウ	*Burmannia championii* Thwaites	
24	ラン	シラン	*Bletilla striata* (Thunb.) Rchb.f.	NT
25	ラン	ミヤマムギラン	*Bulbophyllum japonicum* (Makino) Makino	NT
26	ラン	エビネ	*Calanthe discolor* Lindl.	NT
27	ラン	キンラン	*Cephalanthera falcata* (Thunb.) Blume	VU
28	ラン	ササバギンラン	*Cephalanthera longibracteata* Blume	
29	ラン	イチヨウラン	*Dactylostalix ringens* Reichb.f.	
30	ラン	セッコク	*Dendrobium moniliforme* (L.) Sw.	
31	ラン	タシロラン	*Epipogium roseum* (D.Don) Lindl.	NT
32	ヒガンバナ	ヒメニラ	*Allium monanthum* Maxim.	
33	キジカクシ	マイヅルソウ	*Maianthemum dilatatum* (A.W.Wood) A.Nelson et J.F.Macbr.	
34	ホシクサ	ツクシクロイヌノヒゲ	*Eriocaulon kiusianum* Maxim.	VU
35	カヤツリグサ	イトテンツキ	*Bulbostylis densa* (Wall.) Hand.-Mazz. var. *capitata* (Miq.) Ohwi	NT
36	カヤツリグサ	ニイタカスゲ	*Carex leucochlora* Bunge var. *aphanandra* (Franch. et Sav.) T.Koyama	
37	カヤツリグサ	キノクニスゲ	*Carex matsumurae* Franch.	NT
38	カヤツリグサ	キシュウナキリスゲ	*Carex nachiana* Ohwi	VU
39	カヤツリグサ	キイトスゲ	*Carex sachalinensis* F.Schmidt var. *fulva* (Ohwi) Ohwi	
40	カヤツリグサ	ジングウスゲ	*Carex sacrosancta* Honda	NT
41	カヤツリグサ	ホソバカンスゲ	*Carex temnolepis* Franch.	
42	カヤツリグサ	ヌマガヤツリ	*Cyperus glomeratus* L.	
43	イネ	ウンヌケ	*Eularla speciosa* (Debeaux) O.Kuntze	VU
44	イネ	トウサササクサ	*Lophatherum sinense* Rendle	
45	イネ	ウキシバ	*Pseudoraphis sordida* (Thwaites) S.M.Phillips et S.L.Chen	
46	イネ	ハマエノコロ	*Setaria viridis* (L.) Beauv. var. *pachystachys* (Franch. et Sav.) Makino et Nemoto	
47	イネ	オニシバ	*Zoysia macrostachya* Franch. et Sav.	
48	メギ	ヘビノボラズ	*Berberis sieboldii* Miq.	
49	キンポウゲ	アズマイチゲ	*Anemone raddeana* Regel	
50	キンポウゲ	ミスミソウ	*Hepatica nobilis* Schreber var. *japonica* Nakai	NT
51	キンポウゲ	スハマソウ	*Hepatica nobilis* Schreber var. *japonica* Nakai form. *variegata* (Makino) Kitam.	NT
52	キンポウゲ	シギンカラマツ	*Thalictrum actaefolium* Siebold et Zucc.	
53	ユキノシタ	キバナハナネコノメ	*Chrysosplenium album* Maxim. var. *flavum* H.Hara	NT
54	ユキノシタ	ナメラダイモンジソウ	*Saxifraga fortunei* Hook.f. var. *suwoensis* Nakai	
55	ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ	*Hylotelephium verticillatum* (L.) H.Ohba	
56	ベンケイソウ	ツメレンゲ	*Orostachys japonicus* (Maxim.) A.Berger	NT
57	タコノアシ	タコノアシ	*Penthorum chinense* Pursh	NT

58	アリノトウグサ	タチモ	*Myriophyllum ussuriense* (Regel) Maxim.	NT
59	マメ	オオバクサフジ	*Vicia pseudo-orobus* Fisch. et Mey.	
60	バラ	ミヤマザクラ	*Prunus maximowiczii* Rupr.	
61	イラクサ	ヤナギイチゴ	*Debregeasia orientalis* C.J.Chen	
62	ブナ	フモトミズナラ	*Quercus crispula* Blume var. *mongolicoides* (H.Ohba) Seriz.	
63	ニシキギ	イワウメヅル	*Celastrus flagellaris* Rupr.	
64	カタバミ	コミヤマカタバミ	*Oxalis acetosella* L.	
65	カタバミ	ミヤマカタバミ	*Oxalis griffithii* Edgew. et Hook.f.	
66	ヤナギ	キヌヤナギ	*Salix kinuyanagi* Kimura	
67	スミレ	サクラスミレ	*Viola hirtipes* S.Moore	
68	ミソハギ	ヒメミソハギ	*Ammannia multiflora* Roxb.	
69	ミソハギ	オニビシ	*Trapa natans* L.	
70	ムクロジ	カジカエデ	*Acer diabolicum* Blume ex Koch	
71	アブラナ	ミズタガラシ	*Cardamine lyrata* Bunge	
72	イソマツ	ハマサジ	*Limonium tetragonum* (Thunb.) A.A.Bullock	NT
73	タデ	サトヤマタデ	*Persicaria clivorum* Seriz.	
74	タデ	サイコクヌカボ	*Persicaria foliosa* (H.Lindb.) Kitagawa var. *nikaii* (Makino) H.Hara	VU
75	タデ	トヨボタニソバ	*Persicaria geocarpica* Suyama	
76	タデ	ナガバノウナギツカミ	*Persicaria hastatosagittata* (Makino) Nakai	NT
77	タデ	コミゾソバ	*Persicaria mikawana* Hanai et Seriz.	
78	タデ	オオミゾソバ	*Persicaria thunbergii* (Sieb. et Zucc.) H.Gross subsp. *stolonifera* (F.Schmidt)	
79	ヒユ	ハチジョウイノコヅチ	*Achyranthes bidentata* Blume var. *hachijoensis* (Honda) H.Hara	
80	ヒユ	マルバアカザ	*Chenopodium acuminatum* Willd. var. *japonicum* Franch. et Sav.	
81	ヒユ	カワラアカザ	*Chenopodium acuminatum* Willd. var. *vachelii* (Hook. et Arn.) Miq.	
82	ヒユ	イソホウキギ	*Kochia littorea* (Makino) Makino	
83	アジサイ	バイカアマチャ	*Platycrater arguta* Siebold et Zucc.	
84	サクラソウ	クリンソウ	*Primula japonica* A.Gray	
85	ツツジ	サラサドウダン	*Enkianthus campanulatus* (Miq.) G.Nicholson	
86	ツツジ	シャクジョウソウ	*Monotropa hypopitys* L.	
87	アカネ	キクムグラ	*Galium kikumugura* Ohwi	
88	アカネ	ルリミノキ	*Lasianthus japonicus* Miq.	
89	リンドウ	イヌセンブリ	*Swertia tosaensis* Makino	VU
90	キョウチクトウ	コイケマ	*Cynanchum wilfordii* (Maxim.) Hook.f.	
91	キョウチクトウ	クサナギオゴケ	*Vincetoxicum katoi* (Ohwi) Kitag.	VU
92	ムラサキ	ミズタビラコ	*Trigonotis brevipes* (Maxim.) Maxim. ex Hemsl.	
93	モクセイ	ハシドイ	*Syringa reticulata* (Blume) H.Hara	
94	オオバコ	マルバノサワトウガラシ	*Deinostema adenocaulum* (Maxim.) T.Yamaz.	VU
95	オオバコ	スズメノハコベ	*Microcarpaea minima* (J.Koenig ex Retz.) Merrill	VU
96	シソ	シロネ	*Lycopus lucidus* Turcz. ex Benth.	
97	シソ	シマジタムラソウ	*Salvia isensis* Nakai ex H.Hara	VU
98	シソ	ヒメナミキ	*Scutellaria dependens* Maxim.	
99	ハマウツボ	ヒキヨモギ	*Siphonostegia chinensis* Benth. Ex Hook. Et Arn.	
100	タヌキモ	ムラサキミミカキグサ	*Utricularia uliginosa* Vahl	NT
101	クマツヅラ	イワダレソウ	*Phyla nodiflora* (L.) Greene	
102	キキョウ	ソバナ	*Adenophora remotiflora* (Sieb. et Zucc.) Miq.	
103	ミツガシワ	ガガブタ	*Nymphoides indica* (L.) O.Kuntze	NT
104	キク	ムラサキトキンソウ	*Centipeda* sp.	
105	キク	サケバヒヨドリ	*Eupatorium laciniatum* Kitam.	
106	キク	ミズギク	*Inula ciliaris* (Miq.) Maxim.	
107	キク	ネコノシタ	*Melanthera prostrata* (Hemsl.) W.L.Wagner et H.Rob.	
108	キク	ヤマザトタンポポ	*Taraxacum denudatum* H.Koidz. var. *arakii* (Kitam.) Seriz.	NT
109	スイカズラ	ベニバナツクバネウツギ	*Abelia spathulata* Sieb. et Zucc. var. *sanguinea* Makino	
110	スイカズラ	マツムシソウ	*Scabiosa japonica* Miq.	
111	セリ	アシタバ	*Angelica keiskei* (Miq.) Koidz.	

情報不足（DD）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	バラ	ホウロクイチゴ	*Rubus sieboldii* Blume	
2	サクラソウ	オオツルコウジ	*Ardisia walkeri* Yuen P.Yang	EN
3	スイカズラ	キンレイカ	*Patrinia triloba* (Miq.) Miq. var. *palmata* (Maxim.) H.Hara	

国リスト

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	クスノキ	ニッケイ	*Cinnamomun sieboldii* Meisn.	NT
2	オモダカ	アギナシ	*Sagittaria aginashi* (Makino) Makino	NT
3	トチカガミ	ミズオオバコ	*Ottelia alismoides* (L.) Pers.	VU
4	ヒルムシロ	ツツイトモ	*Potamogeton panormitanus* Biv.	VU
5	ヒルムシロ	リュウノヒゲモ	*Potamogeton pectinatus* L.	NT
6	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ	*Sciaphila nana* Blume	VU
7	ラン	マメヅタラン	*Bulbophyllum drymoglossum* Maxim. ex Okubo	NT

8	ラン	ムギラン	*Bulbophyllum inconspicuum* Maxim.	NT
9	ガマ	ナガエミクリ	*Sparganium japonicum* Rothert	NT
10	カヤツリグサ	チャボイ	*Eleacharis parvula* (Roem. et Schult.) Link ex Bluff, Nees et Schauer	VU
11	イネ	ヒメコヌカグサ	*Agrostis valvata* Steud.	NT
12	クロウメモドキ	ハマナツメ	*Pariurus ramosissimus* (Lour.) Poir.	VU
13	カバノキ	サクラバハンノキ	*Alnus trabeculosa* Hand.-Mazz.	NT
14	ミソハギ	ミズマツバ	*Rotala mexicana* Cham. et Schltdl.	VU
15	アカバナ	ウスゲチョウジタデ	*Ludwigia greatrexii* H.Hara	NT
16	ジンチョウゲ	サクラガンピ	*Diplomorpha pauciflora* (Franch. et Sav.) Nakai	VU
17	アブラナ	コイヌガラシ	*Rorippa cantoniensis* (Lour.) Ohwi	NT
18	タデ	コギシギシ	*Rumex dentatus* L. subsp. *klotzschianus* (Meisn.) Rech.f.	VU
19	キョウチクトウ	スズサイコ	*Vincetoxicum pycnostelma* Kitag.	NT
20	オオバコ	イヌノフグリ	*Veronica polita* Fr. var. *lilacina* (T.Yamaz.) T.Yamaz.	VU
21	オオバコ	カワヂシャ	*Veronica undulata* Wall.	NT
22	シソ	タチキランソウ	*Ajuga makinoi* Nakai	NT
23	シソ	マネキグサ	*Loxocalyx ambiguus* (Makino) Makino	NT
24	シソ	ミゾコウジュ	*Salvia plebeia* R.Br.	NT
25	ハマウツボ	オオヒキヨモギ	*Siphonostegia laeta* S.Moore	VU
26	タヌキモ	イヌタヌキモ	*Utricularia australis* R.Br.	NT
27	キク	ヒダアザミ	*Cirsium tashiroi* Kitam. subsp. *hidaense* (Kitam.)	VU
28	キク	ウラギク	*Tripolium pannonicum* (Jacq.) Schur	NT

④ 愛知県維管束植物レッドリストの変更点

本書に掲載した維管束植物レッドリスト（見直し後）と「レッドリストあいち 2015」に掲載した維管束植物レッドリスト（見直し前）の新旧対照表を以下に示した。なお、ランク変更のなかった種については、記載を一部省略した。

		見直し前のランク								
		EX	CR	EN	VU	NT	DD	国リスト *1	リスト外・未評価 *2	種数
見直し後のランク	EX	テツホシダ ミヤマシダ オリヅルシダ ウミヒルモ ヤマノコギリソウ★1 等、45種	ムラサキ コタヌキモ							47
	CR	ナヨテンマ	ヒモラン デンジソウ オオアカウキクサ アカウキクサ サンショウモ イワヤシダ ニッコウシダ オオバショリマ ミヤマメシダ オニバス イワアカザ★2 等、87種	イヨクジャク ヒメコウホネ ヒメザゼンソウ スブタ イバラモ イヌイ ミヤマツチトリモチ ノダイオウ ベニバナイチヤクソウ タチガシワ イブキジャコウソウ ハマウツボ	フキヤミツバ				グンナイフウロ シノジマアザミ イトニガナ コニガナ	105
	EN		シロバイ	ヤチヌギラン エゾノヒメクラマゴケ シチトウハナワラビ チチブホラゴケ タキミシダ ミカワイワガネ ヤシュウハナゼキショウ★3 ミノシロカネソウ★4 ナガバノダケカンバ★5 等、162種	ナカミシシラン コタニワタリ サクライカグマ ワカナシダ ササバモ ミクリ シズイ キケンショウマ マダイオウ タニジャコウソウ				マツザカシダ テンリュウヌリトラノオ	175
	VU			マルミスブタ ウスギムヨウラン ニラバラン オオシロガヤツリ ミズネコノオ	スギラン アスヒカズラ ヒメクラマゴケ ヒロハハナヤスリ マツバラン イヌスギナ コケホラゴケ 等、170種	ヤマソテツ イシガキウラボシ★6 オオヤマサギソウ ヤマトミクリ イカリソウ ヤマホオズキ イズハハコ ホクチアザミ			アサマシケシダ テリハシロヤマシダ コシンジュガヤ ジャコウソウ モミジタマブキ ミヤコアザミ	189
	NT				ヒナノシャクジョウ ハマエノコロ	ミズニラ ナガホノナツノハナワラビ ハマホラシノブ イシカグマ ミヤマワラビ 等、105種		イトトリゲモ	ヤナギスブタ ヒメソハギ ヒメナミキ	111
	DD						ホウロクイチゴ オオツルコウジ キンレイカ			3
	国リスト *1	ハマナツメ				ホンゴウソウ		ニッケイ アギナシ ミズオオバコ リュウノヒゲモ ヒダアザミ★7 等、24種	ツツイトモ サクラガンピ	28
	ランク外 *3					バクチノキ				1
	種数	47	90	179	183	115	3	25	17	659

*1「国リスト」:環境省レッドリストに記載されているが、愛知県においてEX、CR、EN、VU、NT、DDのいずれのランクにも該当しないと評価された種。評価対象外とした種を含む。
*2「未評価」:「レッドリストあいち2015」において評価対象とされなかった種。
*3「ランク外」:「レッドリストあいち2015」掲載種のうち、今回の見直しにおいてEX、CR、EN、VU、NT、DD、国リストのいずれのランクにも該当しないと評価された種。
★1:ノコギリソウからヤマノコギリソウに和名変更　★2:ミドリアカザからイワアカザに和名変更　★3:ハナゼキショウからヤシュウハナゼキショウに和名変更
★4:ハコネシロカネソウからミノシロカネソウに和名変更　★5:ダケカンバからナガバノダケカンバに和名変更　★6:コウラボシからイシガキウラボシに和名変更　★7:ワタムキアザミからヒダアザミに和名変更

（３）コケ植物

① 愛知県におけるコケ植物の概況

愛知県に生育するコケ植物（セン類とタイ類）の種数は、セン類が約 443 種（(成田, 2012）にその後確認の 2 種を追加)、タイ類が 177 種（山田, 2018）である。

愛知県は緯度から見て日本列島のほぼ中央に位置し、南は太平洋に面し、北は日本の屋根ともいうべき中部高山地帯を背負っている。したがって愛知県におけるコケ植物の自然分布は大観すると、南方から黒潮沿岸を伝って北上する南方系（暖地系、亜熱帯系、熱帯系）と北方高地から南下する北方系（寒地系、北周極系）とが交錯している地域である。

一方、日本列島はかつて大陸と地続きであったことと関連して、東アジアまたは広く欧亜大陸との共通種も含んでいる。これらの交錯関係をさらに細かく分析してみると、コケ植物の分布は年間気温と降水量と絡んでいることが判る。愛知県の地勢は南に岡崎・豊橋平野、西に濃尾平野があり、北及び東北方向に次第に高度を増し、東北隅は長野県に接し、いわゆる奥三河山岳地帯となり、県内最高点の茶臼山（1,415m）となっている。東部も静岡県に接して弓張山脈が続いている。このように北と東に山を負い、西と南に低くなった地形は年平均気温の分布に現れており、知多、渥美の両半島及び三河湾奥に沿った地域が最も暖かく、東北隅の山岳地帯が最低となっている。

ただ、豊川に沿った地域では等温線が上流に向けて深く入りこんでいて、温暖な地域が上流に延びている。コケ植物の分布を支配するもう一つの条件は湿度であるが、県内における年間の降水量の分布は、濃尾平野の東部から西三河の西半にかけて広がった丘陵地帯が最も乾燥していておよそ 1,400ｍｍ程度、この地域から周辺に向けて次第に高くなっている。東北方向へは特に高くなり、最奥の茶臼山付近では 2,700mm に達している。

以上のような愛知県内の気象配置は、コケ類の分布に密接に関係を持っている。冷涼多湿な気象をもつ奥三河地帯は北方系コケ類の宝庫であり、温暖多湿の気象をもつ豊川上流地域は鳳来寺山一帯を中心として南方系コケ類の宝庫である。この事は、温暖多湿な環境を如実に指標する生葉上タイ類（カビゴケ、イボケクサリゴケ、ヨウジョウゴケ、ウニバヨウジョウゴケ等）が、鳳来寺山をはじめとする豊川上流一帯に豊富に発見されることによっても知ることが出来る。

なお、コケ類の分布には気象条件と並んで地質条件も大きく関与している。殊に顕著な例は、石灰岩地域にいわゆる好石灰岩性の特有なセン類フロラが出現することで、県内では石巻山一帯、渥美半島の一部、新城市の桜淵、北設楽郡東栄町の一部など石灰岩の露出地域に特有なセン類フロラが成立している。

以上の他にも、土地的条件としてコケフロラと関与するものとしては、好湿性の湿地群落が挙げられる。その代表はミズゴケ類が主な構成要素となる湿地または湿原群落である。県内には奥三河山岳地帯、鳳来寺一帯の暖帯林、平野部の低地湿地などに、それぞれ特徴あるミズゴケ類の湿地が成立している。

② 愛知県における絶滅危惧種の概況

前項において愛知県に見られるコケ植物全般について、環境的にどのような分布パターンが見られるかを示したので、ここでは愛知県として、絶滅危惧と評価された種が、どのパターンに多いか考察してみる。

最も多数を占めるのは、茶臼山、段戸山、白鳥山等を含む北設山岳地帯に見られる北方系のセン類で、ハリミズゴケ、ホソバミズゴケ、イボミズゴケ、ウロコミズゴケ、クロゴケ、ウチワチョウ

ジゴケ、フウリンゴケ、イボタチゴケモドキ、コセイタカスギゴケ、ヒカリゴケ、エゾチョウチンゴケ、フジノマンネングサ、オオミミゴケ、ホンシノブゴケ、タチハイゴケ、シノブヒバゴケ、イワダレゴケ等がその例である。愛知県コケフロラの中で、北設山岳地帯が如何に重要であるかが窺える。

次いで多いのが、鳳来寺山を含む豊川上流地域に見られる南方系のもので、ホソベリミズゴケ、クマノチョウジゴケ、コバノイクビゴケ、クマノゴケ、イサワゴケ、タチチョウチンゴケ、カワブチゴケ、ヒメハゴロモゴケ、トサヒラゴケ、イバラゴケ、ヤクシマツガゴケ、コキジノオゴケ（以上セン類）、カビゴケ、ヨウジョウゴケ、オオシタバケビラゴケ、シフネルゴケ等（以上タイ類）がこれに属する。

また、豊田市の王滝渓谷には、ホソオカムラゴケ、イトゴケなど、湿度の高い渓谷の樹上に生育するセン類が見られる。

その他に、絶滅危惧種として注目されるのは石灰岩地域に出現するもので、マルバホウオウゴケ、サンカクキヌシッポゴケ、セイナンヒラゴケ、キブリハネゴケ（以上セン類）がその例である。

その他、人里近い所の樹皮に着生するもので稀品に属するものとしては、キサゴゴケ、キブネゴケ、イトヒバゴケ、オオミツヤゴケ等、同じく人里近くの沼、ため池、水田等で見られるタイ類のウキゴケ等が挙げられる。

③ 愛知県コケ植物（セン類）レッドリスト

科の配列と名称、種の和名・学名は、原則として「日本の野生植物 コケ」（岩月ほか, 2001）に従った。科内の種の配列については、学名のアルファベット順とした。

絶滅（EX）

（該当種なし）

絶滅危惧ⅠA類（CR）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ミズゴケ	ホソバミズゴケ	*Sphagnum girgensohnii* Russ.	
2	ミズゴケ	ウロコミズゴケ	*Sphagnum squarrosum* Crome	
3	クロゴケ	クロゴケ	*Andreaea rupestris* Hedw. var. *fauriei* (Besch.) Takaki	
4	キセルゴケ	ウチワチョウジゴケ	*Buxbaumia aphylla* Hedw.	
5	キセルゴケ	リュウキュウイクビゴケ	*Diphyscium mucronifolium* Mitt. (Syn. *D. involutum* Mitt.)	
6	キセルゴケ	スズキイクビゴケ	*Diphyscium suzukii* Z.Iwats.	CR+EN
7	ホウオウゴケ	マルバホウオウゴケ	*Fissidens diversifolius* Mitt.	
8	キヌシッポゴケ	サンカクキヌシッポゴケ	*Seligeria patula* (Lindb.) Broth.	
9	シッポゴケ	イボマツバゴケ	*Leucoloma okamurae* Broth.	
10	カタシロゴケ	イサワゴケ	*Syrrhopodon tosaensis* Cardot	VU
11	ヒカリゴケ	ヒカリゴケ	*Schistostega pennata* (Hedw.) F.Weber et Mohr	NT
12	チョウチンゴケ	タチチョウチンゴケ	*Orthomnion dilatatum* (Mitt.) P.C.Chen	CR+EN
13	タチヒダゴケ	キブネゴケ	*Rachithecium nipponicum* (Toyama) Wijk et Margad.	CR+EN
14	カワゴケ	クロカワゴケ(シミズゴケ)	*Fontinalis antipyretica* Hedw.	VU
15	ハイヒモゴケ	イトゴケ	*Neodicradiella pendula* (Sull.) W.R.Buck	
16	ツヤゴケ	オオミツヤゴケ (サクライゴケ)	*Entodon conchophyllus* Cardot	VU

絶滅危惧ⅠB類（EN）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	キセルゴケ	コバノイクビゴケ	*Diphyscium perminutum* Takaki	CR+EN
2	スギゴケ	イボタチゴケモドキ (ハグルマゴケ)	*Oligotrichum aligerum* Mitt.	
3	キンシゴケ	アオゴケ	*Saelania glaucescens* (Hedw.) Broth.	
4	チョウチンゴケ	ナミガタチョウチンゴケ	*Plagiomnium confertidens* (Lindb. et Arn.) T.Kop.	
5	チョウチンゴケ	エゾチョウチンゴケ	*Trachycystis flagellaris* (Sull. et Lesq.) Lindb.	
6	タチヒダゴケ	キサゴゴケ	*Hypnodontopsis apiculata* Z.Iwats. et Nog.	CR+EN
7	タチヒダゴケ	ホソミノゴケ	*Macrocoma tenuis* (Hook. et Grev.) Vitt subsp. *sullivantii* (Müll.Hal.) Vitt	
8	フジノマンネングサ	フジノマンネングサ	*Pleuroziopsis ruthenica* (Weinm.) Kindb.	
9	ヒムロゴケ	オオミミゴケ	*Meteoriella soluta* (Mitt.) S.Okam.	
10	ヒラゴケ	シタゴケ	*Bissetia lingulata* (Mitt.) Broth.	
11	ヒラゴケ	ヒメハゴロモゴケ	*Homaliodendron exiguum* (Bosch et Sande Lac.) M.Fleisch.	NT
12	ヒラゴケ	トサヒラゴケ	*Neckeropsis obtusata* (Mont.) M.Fleisch.	NT
13	ウスグロゴケ	ホソオカムラゴケ	*Okamuraea brachydictyon* (Cardot) Nog.	
14	シノブゴケ	ホンシノブゴケ	*Bryonoguchia molkenboeri* (Sande Lac.) Z.Iwats. et Inoue	
15	シノブゴケ	マルバミヤベゴケ	*Miyabea rotundifolia* Cardot	

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ミズゴケ	ハリミズゴケ	*Sphagnum cuspidatum* Ehrh. ex Hoffm.	
2	ミズゴケ	ホソベリミズゴケ	*Sphagnum junghuhnianum* Dozy et Molk.	DD
3	キセルゴケ	クマノチョウジゴケ	*Buxbaumia minakatae* S.Okam.	
4	キセルゴケ	クマノゴケ	*Diphyscium lorifolium* (Cardot) Magonbo (Syn. *Theriotia lorifolia* Cardot)	NT
5	スギゴケ	フウリンゴケ	*Bartramiopsis lescurii* (James) Kindb.	
6	シッポゴケ	ヘリトリシッポゴケ	*Dicranodontium uncinatum* (Harv.) A.Jaeger (Syn. *D. fleischerianum* W.Schultze-Motel)	
7	カタシロゴケ	ヒメイサワゴケ	*Syrrhopodon armatus* Mitt.	
8	ギボウシゴケ	ヤマトハクチョウゴケ	*Campylostelium brachycarpum* (Nog.) Z.Iwats., Tateishi et Tad.Suzuki	VU
9	ホゴケ	シバゴケ(ホゴケ)	*Racopilum cuspidigerum* (Schwägr.) Ångstr. (Syn. *R. aristatum* Mitt.)	
10	イトヒバゴケ	イトヒバゴケ (クワノイトヒバゴケ)	*Cryphaea obovatocarpa* S.Okam.	CR+EN
11	イトヒバゴケ	カワブチゴケ	*Cyptodontopsis leveillei* (Thér.) P.Rao et Enroth (Syn. *C. obtusifolia* (Nog.) Nog.)	NT

12	ムジナゴケ	マツムラゴケ	*Duthiella speciosissima* Broth. ex Card.	
13	ヒラゴケ	セイナンヒラゴケ	*Neckeropsis calcicola* Nog.	
14	ヒラゴケ	キブリハネゴケ	*Pinnatella makinoi* (Broth.) Broth.	NT
15	アブラゴケ	イバラゴケ(ケムシゴケ)	*Calyptrochaeta japonica* (Cardot et Thér.) Z.Iwats. et Nog.	
16	アブラゴケ	ヤクシマツガゴケ	*Distichophyllum collenchymatosum* Cardot	
17	クジャクゴケ	コキジノオゴケ	*Cyathophorum hookerianum* (Griff.) Mitt. (Syn. *Cyathophorella hookeriana* (Griff.) M.Fleisch.)	NT
18	アオギヌゴケ	キンモウヤノネゴケ	*Bryhnia trichomitria* Dixon et Thér.	
19	イワダレゴケ	シノブヒバゴケ	*Hylocomiastrum himalayanum* (Mitt.) Broth.	

準絶滅危惧(NT)

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ミズゴケ	オオミズゴケ	*Sphagnum palustre* L.	NT
2	ミズゴケ	イボミズゴケ	*Sphagnum papillosum* Lindb.	
3	スギゴケ	コセイタカスギゴケ	*Pogonatum contortum* (Brid.) Lesq.	
4	イワダレゴケ	イワダレゴケ	*Hylocomium splendens* (Hedw.) Bruch et Schimp.	
5	イワダレゴケ	タチハイゴケ	*Pleurozium schreberi* (Brid.) Mitt.	

④ 愛知県コケ植物（セン類）レッドリストの変更点

本書に掲載したコケ植物（セン類）レッドリスト（見直し後）と「レッドリストあいち 2015」に掲載したコケ植物（セン類）レッドリスト（見直し前）の新旧対照表を以下に示した。

		見直し前のランク								
		EX	CR	EN	VU	NT	DD	国リスト*1	リスト外・未評価*2	種数
見直し後のランク	EX									0
	CR		クロゴケ ウチワチョウジゴケ リュウキュウイクビゴケ スズキイクビゴケ マルバホウオウゴケ サンカクキヌシッポゴケ イボマツバゴケ イサワゴケ ヒカリゴケ タチチョウチンゴケ クロカワゴケ(シミズゴケ) イトゴケ オオミツヤゴケ(サクライゴケ)	ホソバミズゴケ ウロコミズゴケ キブネゴケ						16
	EN			コバノイクビゴケ イボタチゴケモドキ(ハグルマゴケ) アオゴケ ナミガタチョウチンゴケ エゾチョウチンゴケ キサゴゴケ ホソミノゴケ フジノマンネングサ オオミミゴケ シタゴケ ヒメハゴロモゴケ トサヒラゴケ ホソオカムラゴケ ホンシノブゴケ マルバミヤベゴケ						15
	VU				ハリミズゴケ ホソベリミズゴケ クマノチョウジゴケ クマノゴケ フウリンゴケ ヘリトリシッポゴケ ヤマトハクチョウゴケ シバゴケ(ホゴケ) イトヒバゴケ(クワノイトヒバゴケ) カワブチゴケ マツムラゴケ セイナンヒラゴケ キブリハネゴケ イバラゴケ(ケムシゴケ) ヤクシマツガゴケ コキジノオゴケ キンモウヤノネゴケ シノブヒバゴケ				ヒメイサワゴケ	19
	NT					オオミズゴケ イボミズゴケ コセイタカスギゴケ イワダレゴケ タチハイゴケ				5
	DD									
	国リスト*1									0
	ランク外*3									0
	種数	0	13	18	18	5	0	0	1	55

*1「国リスト」:環境省レッドリストに記載されているが、愛知県においてEX、CR、EN、VU、NT、DDのいずれのランクにも該当しないと評価された種。
*2「未評価」:「レッドリストあいち2015」において評価対象とされなかった種。
*3「ランク外」:「レッドリストあいち2015」掲載種のうち、今回の見直しにおいてEX、CR、EN、VU、NT、DD、国リストのいずれのランクにも該当しないと評価された種。

⑤ 愛知県コケ植物（タイ類）レッドリスト

科の配列と名称、種の配列及び和名、学名は、原則として「グリーンデータブックあいち 2018 タイ類・ツノゴケ類編」を基に、新しい知見（片桐・古木, 2018）を加え整理した。

絶滅（EX）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	タカサゴソコマメゴケ	タカサゴソコマメゴケ	*Jackiella javanica* Schiffn.	
2	ヤスデゴケ	サカワヤスデゴケ	*Frullania sackawana* Steph.	VU
3	クサリゴケ	イボケクサリゴケ	*Cololejeunea denticulata* (Horik.) S. Hatt.	

絶滅危惧ⅠA類（CR）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	クサリゴケ	キタガワシロクサリゴケ	*Cheilolejeunea kitagawae* W. Ye et R.L. Zhu	

絶滅危惧ⅠB類（EN）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ウロコゴケ	マルバソコマメゴケ	*Heteroscyphus tener* (Steph.) Schiffn.	
2	クサリゴケ	ナカジマヒメクサリゴケ	*Cololejeunea nakajimae* S. Hatt.	
3	クサリゴケ	ウニバヨウジョウゴケ	*Cololejeunea spinosa* (Horik.) Pande et Misra	
4	クサリゴケ	ヨウジョウゴケ	*Cololejeunea trichomanis* (Gottsche) Steph.	NT

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ウキゴケ	ウキゴケ	*Riccia fluitans* L.	
2	ヤバネゴケ	シフネルゴケ	*Schiffneria hyalina* Steph.	
3	クサリゴケ	カビゴケ	*Leptolejeunea elliptica* (Lehm.et Lindenb.) Besch.	NT
4	クサリゴケ	マルバヒメクサリゴケ	*Myriocoleopsis minutissima* (Sm.) R.L. Zhu, Y.Yu et Pócs	
5	ケビラゴケ	オオシタバケビラゴケ	*Radula cavifolia* Hampe ex Gottsche, Lindenb. et Nees	

準絶滅危惧（NT）

（該当種なし）

国リスト

No.	科 名	和 名	学 名	国ランク
1	ウキゴケ	イチョウウキゴケ	*Ricciocarpos natans* (L.) Corda	NT

⑥ 愛知県コケ植物（タイ類）レッドリストの変更点

本書に掲載したコケ植物（タイ類）レッドリスト（見直し後）と「レッドリストあいち 2015」に掲載したコケ植物（タイ類）レッドリスト（見直し前）の新旧対照表を以下に示した。

		見直し前のランク								
		EX	CR	EN	VU	NT	DD	国リスト *1	リスト外・未評価 *2	種数
見直し後のランク	EX	タカサゴソコマメゴケ サカワヤスデゴケ イボケクサリゴケ								3
	CR		キタガワシロクサリゴケ							1
	EN			マルバソコマメゴケ ナカジマヒメクサリゴケ ウニバヨウジョウゴケ ヨウジョウゴケ						4
	VU				ウキゴケ シフネルゴケ カビゴケ マルバヒメクサリゴケ オオシタバケビラゴケ					5
	NT									0
	DD									0
	国リスト *1					イチョウウキゴケ				1
	ランク外 *3									0
種数		3	1	4	5	1	0	0	0	14

*1「国リスト」：環境省レッドリストに記載されているが、愛知県においてEX、CR、EN、VU、NT、DDのいずれのランクにも該当しないと評価された種。
*2「未評価」：「レッドリストあいち2015」において評価対象とされなかった種。
*3「ランク外」：「レッドリストあいち2015」掲載種のうち、今回の見直しにおいてEX、CR、EN、VU、NT、DD、国リストのいずれのランクにも該当しないと評価された種。

（４）引用文献等

概論の執筆にあたって引用あるいは参照した文献を分類群ごとに以下に掲載した。配列は著者名のアルファベット順とした。

① 維管束植物

・愛知県自然史研究連絡会, 2002. 自然からの SOS－レッドデータブックあいち植物編解説. 242pp. 愛知みどりの会, 刈谷.
・愛知県植物誌調査会, 1996. 植物からの SOS－愛知県の絶滅危惧植物. 130pp. 同会, 刈谷.
・愛知県高等学校生物教育研究会(編), 1971. 愛知の植物. 260pp. 同会, 名古屋.
・安城市史編集委員会(編), 2005. 新編安城市史 11 資料編自然別冊 安城市植物目録 維管束植物（シダ植物・種子植物). 145pp. 安城市, 安城.
・長谷川道明(編), 2005. よみがえれ！愛知のいきものたち. 88pp. 豊橋市自然史博物館, 豊橋.
・鳳来町立鳳来寺自然科学博物館(編), 1995. 鳥居喜一寄贈東三河の植物標本目録. 690pp. 同館, 鳳来.
・糸魚川淳二・佐藤正孝・芹沢俊介(編), 2007. 海上の森の自然史. 187pp. あいち海上の森センター, 瀬戸.
・加藤等次・村松正雄・森下なつ子・村井寿一, 1995. 新版豊根の植物. 325pp. 豊根村教育委員会, 豊根.
・小林元男, 1998. 新城地方の樹木(改訂版). 237pp. 愛知県・新城地方林業振興会, 新城.
・小林元男, 2000. 新城地方の植物. 211pp. 愛知県, 名古屋.
・小林元男, 2001. 愛知県地域別植物誌（1）豊橋市の植物. 愛知県植物誌調査会, 刈谷.
・小林元男, 2002. 渥美半島の植物－田原町･赤羽根町･渥美町. 201pp. 東三林業振興会, 豊橋.
・小林元男, 2004. 宝飯の植物－一宮町・豊川市・小坂井町・音羽町・御津町・蒲郡市. 237pp. 東三河農林水産事務所, 豊橋.
・小林元男, 2006. 北設楽の植物. 282pp. 愛知県林業試験研究推進協議会, 新城.
・小林元男, 2019. 愛知県民の森の植物. 116pp. 愛知公園協会県民の森, 新城.
・小林元男・深谷昭登司, 2008. 佐久島･三河湾島々の植物. 295pp. 佐久島会, 刈谷.
・大原準之助, 1971. 愛知県国有林の植物誌（愛知県植物目録). 178pp. 名古屋営林局, 名古屋.
・芹沢俊介, 1992. 愛知教育大学植物標本室報告 1　愛知県および岐阜県東濃地方の丘陵・低山地における湿地性植物の現状. 166pp. 愛知教育大学生物学教室, 刈谷.
・瀬戸市史編纂委員会(編), 1986. 瀬戸市史 資料編 2 自然. 460pp. 瀬戸市, 瀬戸.
・瀧崎吉伸･村松正雄･畑佐武司･芹沢俊介, 2017. グリーンデータブックあいち 2017 維管束植物編, 352pp. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
・塚本威彦・日比野修. 2012. 愛知県地域別植物誌(2) 瀬戸市の植物. 139pp. 愛知県植物誌調査会, 刈谷.
・恒川敏雄, 1984. 渥美半島植物記. 553pp. 私刊, 豊橋.

② コケ植物

・岩月善之助･出口博則･古木達郎, 2001. 日本の野生植物 コケ, 355pp. 192 pls. 平凡社, 東京.
・片桐知之･古木達郎, 2018. 日本産タイ類･ツノゴケ類チェックリスト. Hattoria, 9: 53-102. 公益財団服部植物研究所, 日南市.
・成田 務, 2012. 愛知県産蘚類目録（予報）2011. 鳳来寺山自然科学博物館館報, 41: 24-32.
・山田耕作, 2018. グリーンデータブックあいち 2018 タイ類･ツノゴケ類編. グリーンデータブックあいち 2018, pp.F-1-13. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.

５．掲載種の解説

レッドリストに掲載された各植物について、種ごとに形態的な特徴や分布、県内の状況等を解説した。記述の項目、内容等は各分類群冒頭の凡例のとおりとした。準絶滅危惧種、情報不足種、国リストの種についても、これらが目にふれる機会が多いことを考慮し、絶滅危惧種とほぼ同じ様式で記述した。なお、維管束植物のニッケイ、ツツイトモ、ハマナツメ、サクラガンピは愛知県としては評価対象外であるが、国のレッドリストに掲載されていることから、「国リスト」に含めて県内の状況を記述した。

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の表記については、略称として「種の保存法」と表記することとした。また、愛知県の「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」の表記については、略称として「県条例」と表記することとした。

執筆責任者は、凡例の後に表記した。ただし、編集者の都合で、一部加筆した場合もある。また、必要に応じ、2001 年版及び 2009 年版の執筆責任者も表記した。

なお、ここで「執筆責任者」というのは「本書に書かれた内容に責任を持つ者」という意味で、「本書の文章を作成した者」という意味ではない。今回の「レッドデータブックあいち 2020」は、2001 年版及び 2009 年版の改訂版であるが、旧版との内容の一貫性を保つため、今回の執筆責任者が内容上特に問題がないと判断した部分については、原則として旧版の文章表現をそのまま踏襲することとした。